

平成 30 年 度

教育計画

～夢、感性あふれる教育～



小学校児童総会



小学校あいさつ運動

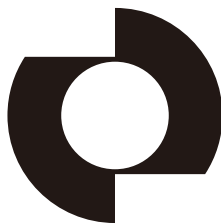


中学校いじめ見逃し0集会



中学校授業風景

出雲崎町教育委員会



町章

(昭和41年6月20日制定)

出雲崎町の「い」を円に沿って図案化したもので、
回転・力動・躍進を表したものです。

出雲崎町民憲章

わたくしたち出雲崎町民は、
日本海と小木の城に代表される
美しい自然と豊かな歴史のふる
さと出雲崎町に誇りをもち、そ
の限らない躍進に願いをこめて
この町民憲章を定めます。

一、青い海、

緑の山の恵みに感謝し、
美しい町をつくりましょう。

一、伝統をはぐくみ、

文化の香り高い町を
つくりましょう。

一、働くことを喜び、

生き生きとした町を
つくりましょう。

一、健やかな心と体を鍛え、

明るい町を
つくりましょう。

一、良寛のこころを心として、

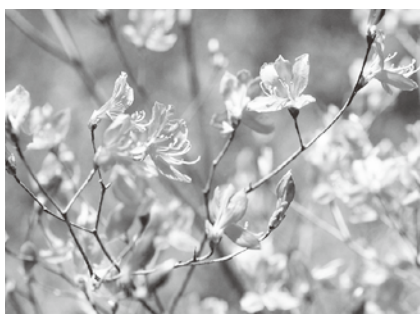
思いやりのある町を
つくりましょう。

昭和六十二年六月二十日制定



町の木 けやき

町内に銘木も多く、特に小木ノ城のけやきは、
古くから郷土の象徴として親しまれています。
いかなる環境にも耐え抜く旺盛な生育力があり、
町のシンボルにふさわしいとして、町の木に定め
られました。



町の花 赤坂つつじ

「つつじ」は四季を通じて花葉を觀賞することが
でき、育てやすく庶民的な花木で知られています。
特にこのつつじは、乙茂の赤坂山附近に群生し
ており、他地域ではあまり生育しないことから
「赤坂つつじ」（和名：ユキグニミツバツツジ）
として、町の花に定められました。

目 次

は じ め に	出雲崎町教育委員会教育長 佐藤 亨
I 出雲崎町のすがた	1
1 位 置	1
2 気 象	2
3 歴 史	2
II 第5次出雲崎町総合計画における教育関係の基本構想 及び基本計画について（抜粋）	3
1 就学前の児童養育	3
2 学校教育	3
3 生涯学習	4
4 図書館	4
5 歴史・文化	4
6 運動・スポーツ	5
III 町教育の基本方針と施策の方向性及び平成30年度の主な事業	6
IV 教育行政全般について	8
1 社会教育（生涯学習）について	8
2 図書館について	10
3 良寛記念館について	10
4 文化財行政について	11
5 社会体育について	13
V 小中連携教育の推進	16
VI 出雲崎町教育計画	19
VII 各校教育計画の大綱	25
出雲崎小学校	25
出雲崎中学校	31
教育委員会関係役職員名簿	37
出雲崎町の教育関係施設	40



は じ め に

出雲崎町教育委員会
教育長 佐藤 亨

いつの時代にも、公教育では先を見据えた教育の視点が重要である。

日本の実状を見ると、少子化により50年後には日本の総人口の3割が減ると言われる。当然、高齢化も進み、人口の約4割が65歳以上となる。そうなると、若者の力が極めて大切とならざるを得ない。不確実な時代になればなるほど、学校での知識・技能のみでは将来、先の時代の進展は無理である。自分で切り拓く資質、能力を身につけていかななくてはならない。いわゆる際立った「生きる力」の養成が待たれるということになる。（参照・尾崎春樹目白学園理事長論文）

そのような折、学校教育では小学校が32年度、中学校が33年度に国の学習指導要領が改定される。本年度からは小学校では、道徳の特別教科化（中学校は来年）が始まり、そして、中学年で「外国語活動」、高学年では「外国語科」の先行実施がなされる。特に道徳では、道徳価値を自分事として理解し、多面的・多角的に深く考えたり、議論したりして充実を図る。この学習指導要領の改訂は、知識の理解の質を高め、資質・能力を育む「主体的、対話的で深い学び」を中核に、「何ができるようになるか」「何のために学ぶのか」を明確化する。

新潟県においても『学校教育の重点』では「主体的、対話的で深い学び」を中核にして、「教員の指導力向上」「授業改善」を据えている。

このような推移をにらみながら、現行の学習指導要領の枠組みや教育内容を維持した上で、本町の小学校では、外国語科活動を先行実施するなど、「確かな学力」を育成していくこととしている。

また、出雲崎町は小・中学校の連携を強く推し進めているが、本年度は保育園の理解、協力を得て、保・小・中の連携を密にすることとしている。保育園では、小学校入学前に「学びの基礎づくり・集団の基礎づくり・生活習慣づくり」を重視して小学校に繋がたいと考えている。

社会教育においては「住民が自己の充実・啓発や生活の向上のために、自発的意思に基づいて行うことを基本とし、生涯を通じて行っていく」という生涯学習の意義を大切にして取り組んでいきたい。そのために行政として、各種教室やサークル活動の援助や、講座内容の充実、良寛記念館のさらなる促進、近年の健康志向の増大と共に体育施設の利用促進（多目的運動場の整備完了）など力を入れて取り組んでまいりたい。

さらに、図書館事業においては、図書他施設への貸し出しや読書啓発の掲示の工夫など課題の多い図書館活用にも力を注ぎたい。

いずれにしても、各位のご批正ご指導を重ねてお願い申し上げたいと考えている。

I 出雲崎町のすがた

1 位 置

本町は、新潟県のほぼ中央に位置し、南東部を長岡市、南西部を柏崎市に接し、北西部は約9kmにおよぶ海岸線を有し、佐渡と対峙しています。

町の総面積は44.38km²で、このうち山林面積が約69.1%を占めています。町の中央部には二級河川島崎川が南北に流れ、樹枝状に伸びる支流に沿って帯状の耕地が点在しています。

集落は、1次生活圏*1として海岸地区及び駅前地区があり、海岸地区では国道352号及び国道402号に沿って約3.6kmにわたり帯状に住宅地が形成されています。

また、駅前地区は中央部をJR越後線及び国道116号が町内を縦貫しており、出雲崎駅及び小木ノ城駅周辺に住宅地が形成されています。その他の集落は、樹枝状の沢々に点在しています。

上越新幹線及び、北陸・関越両自動車道の開通により、関東圏に最も近い日本海側の町として、観光資源などを生かした魅力ある地域となっています。

*1：生活圏とは、地域を階層的な圏域（1次、2次、地方）に区分したもので、次の基準で示されることが一般的です。

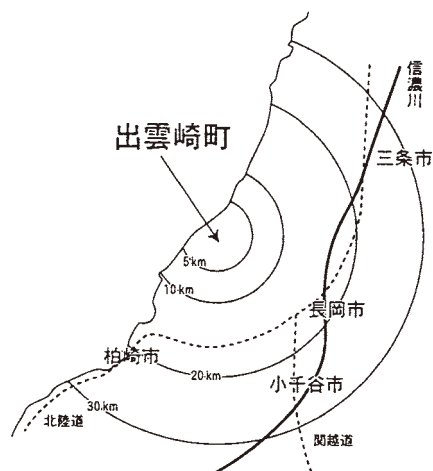
1次生活圏…役場、集会所、小学校などの施設を持ち、半径4～6km程度の範囲

2次生活圏…高度の買い物ができる商店街や高等学校などを持ち、半径6～10km程度の範囲

地方生活圏…総合病院、各種学校、中央市場などを持つ。いくつかの2次生活圏から構成され、範囲は20～30km程度の範囲

周辺（30km圏）の市町村

区 分	市町村（旧名）
10km圏内	長岡市（与板町・三島町・和島村）、 柏崎市（西山町）
20km圏内	長岡市（長岡市・越路町・中之島町・ 寺泊町）、見附市、柏崎市、刈羽村、 燕市（分水町）、三条市（栄町）、 弥彦村
30km圏内	小千谷市、長岡市（栃尾市・小国町・ 山古志村・川口町）、燕市（燕市・吉 田町）、三条市（三条市・下田村）、 新潟市（巻町・岩室村・中之口村）



2 気 象

本町の気象は、冬期は冬型の気圧配置が影響して、海岸部では北西の季節風が強く、内陸部に入るにしたがって弱くなっています。平成25年から平成29年までの5年間の平均最大降雪量は47.2cm、平均最大積雪深は55.6cmと新潟県内においては比較的少ない地域です。平均気温は14.6℃、平均降水量は2,190mmとなっています。

過去5年間の気象状況（建設課）

	気 温(℃)			降水量 (mm)	最大降雪量 (cm)	最大積雪量 (cm)
	平 均	最 高	最 低			
平成25年	14.2	32.8	－4.5	2,908	27	48
平成26年	14.5	35.0	－6.1	1,946	44	44
平成27年	14.9	35.0	－3.0	1,805	18	32
平成28年	15.1	34.6	－4.3	1,804	83	90
平成29年	14.3	35.4	－3.7	2,490	64	64

（観測場所：出雲崎町役場）

3 歴 史

本町の海岸地区は、神話時代に大国主命によって開拓されたと伝えられ、天正17年（1589年）に上杉景勝の陣屋が設けられたほか、元和2年（1616年）には江戸幕府7万石支配の代官所が置かれるなど、古くから佐渡への渡海の津として栄えました。また、明治時代にはわが国初の石油の機械掘りに成功し、石油産業発祥の地として脚光を浴びました。

一方、内陸部の駅前地区は、古くは南北朝時代の小木氏や戦国時代の上杉謙信の活躍により、古戦場や小木ノ城山に代表される城跡などの史跡も残されており、戦前は教育の村として先人の功績も大きく受け継がれています。

本町の沿革は、明治22年の町村合併で、出雲崎町・尼瀬町・西越村・中越村・八手村の2町3村が誕生し、明治34年に西越村・中越村・八手村が合併して西越村となり、次いで明治37年に西越村と出雲崎町が合併して出雲崎町となりました。

さらに、昭和32年6月20日に西越村と出雲崎町が合併して、出雲崎町となり町政を施行し、翌年大字高畑が和島村（現長岡市）へ移り、今日に至っています。

Ⅱ 第5次出雲崎町総合計画における教育関係の基本構想 及び基本計画について（抜粋）

◎基本構想（平成23年度～平成32年度）

出雲崎町の将来像における基本方針について

夢・感性あふれる教育と歴史文化香るまちづくり



1 就学前の児童養育

幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期です。子ども達の健やかな成長を願い、就学につながる幼児の養育に当たる保育所の役割は、健康・人間関係・環境・言語・表現の領域を学びながら、「生きる力」の基礎を育成することにあります。

本町は、家庭や地域と保育所で連携・協力して保育環境の整備を図りながら、就学前の児童の総合的な保育支援を図っていきます。

【施策の方針】

1. 就学前幼児の養育を図るため、幼児講座など公民館事業の充実を図ります。
2. 家庭・保育所・地域で綿密な連携を図り、児童が健やかに成長を遂げるために、家庭教育など生涯を通した総合的な支援を行います。

2 学校教育

今次改訂された「新学習指導要領」の重点は、①教育の理念を踏まえた「生きる力」の育成 ②知識・技能の習得及び思考力・判断力・表現力等を重視したことによる授業時数の増加 ③道徳教育や体育等の充実により、豊かな心や健やかな体の育成にあります。

要領の目指す期待像は、子どもたちが主体的に学び、積極的な意欲を持ち、かつ、学んだことを前向きに活用する姿です。

それを受け本町は、知・徳・体の調和の取れた人格を形成する上から、「夢をもち、感性豊かで、たくましい心」の理念の下、児童生徒が、よりよい人生を構築できる基礎を養えるよう、学校（間）・家庭・地域が連携・協力を図りながら、町の教育を推進していきます。

高等学校教育については、心耕学園の建学の精神を受け継いだ県立高等学校がありますが、生徒の能力や適性に応じた効果的な教育が展開できるよう、県及び関係機関に対し学習環境の整備を働きかけるとともに、奨学金制度の充実に努めます。



【施策の方針】

1. 学校（間）・家庭・地域の三位一体により教育力の向上を図ります。
2. 夢を持ち、感性豊かな心とたくましい体を育てるため、学習環境の整備・充実を図ります。
3. 家庭・学校・地域で連携しながら、地域と歩む特色ある学校づくりを推進します。
4. 高学歴志向の高まりや不安定な経済状況の中で、奨学金制度の充実を図ります。
5. 高等学校に通学する生徒の通学費の一部を助成し、保護者の負担軽減を図ります。

3 生涯学習

少子高齢化社会の進展やライフスタイルの多様化等の観点から、町民一人ひとりが、自ら人格を磨き、豊かな人生を送ることが大切であり、こうした町民の資質・能力向上の活動が盛んになることで、町全体が活性化することにつながります。

みんながお互いに学びの楽しさところの連携を通して、「生きがいの持てるまち」の精神を育み、多様な学習機会の提供や環境整備等を行い、生涯学習の活動を一層推進していきます。

【施策の方針】

1. 町民のニーズに応じた幅広い講座や文化教室を推進し、内容の充実を図りながら、学習機会の促進を図ります。
2. 時代の流れに相応し、豊かな生活を体得できる生涯学習の環境整備を図ります。
3. 町民の学習意欲を向上させるため、学校・家庭・地域が連携した自主活動の仕組みづくりや体制整備を推進します。

4 図書館

出雲崎町の図書館は、1911年（明治44年）に創設され、現在は海岸公民館内の図書館と中央公民館の図書室の2か所で設置しています。

地域の方々が楽しく読書をする事ができる場として、また、町民の方々の多様な学習の機会を提供する場としての環境整備の推進に努めます。

5 歴史・文化

町民が、町の歴史や文化に理解と関心を持ち、潤いに満ちた個性豊かな地域文化の振興を推進していかなければなりません。

本町は、多くの貴重な歴史・文化を保有し、併せて、豊かな自然があります。それらに誇りを持ち、感性豊かで、特色ある歴史・文化のまちの創造を図ることが大切です。

特に海岸地区は約3.6kmにわたり、江戸時代から続く妻入りの街並みが建ち並び、全国的にも注目を集めています。

そのため、町の歴史・文化・芸術等が維持発展できるよう支援、振興を図っていきます。

【施策の方針】

1. 由緒ある歴史施設や伝統ある文化芸術に接する機会を提供し、精神的な豊かさを体得できるよう努めます。
2. 芸術・地域伝統文化活動への参加を促し、その成果を発表する機会の充実を図ります。
3. 芸術文化団体の活動に対して、支援などの条件整備を図ります。
4. 妻入りの街並み保全と環境整備に努めます。
5. 特色ある地域の文化遺産や民俗・風習等を集約し、出雲崎町の「宝もの」として、魅力ある町づくりに役立てていきます。
6. 良寛記念館では、良寛の道徳を永く後世に引き継ぐことが重要であり、“良寛生誕の地”である出雲崎町の情報発信を図り、町民の郷土に対する認識を深める学術文化の向上を図ります。

6 運動・スポーツ

人間の恒久的な願いは、健康でありたいと思う心です。生涯、健康を維持する観点から、みんなが体力や年齢等に応じて、「いつでも・どこでも・いつまでも」の精神を持って体を動かし、運動・スポーツに親しむことができる地域社会の実現が重要です。

町民一人ひとりの健康の維持、増進に対応するとともに、食事を含めた生活習慣の改善をはじめ、完備された運動施設を活用するなど、運動習慣の定着を図ります。

さらに町民が健康で、心身ともに明るく、楽しく日々の生活が送れるよう、運動・スポーツ全般にわたり、その振興を推進していきます。

【施策の方針】

1. 町民の健康づくりのため、計画的な各種スポーツ事業を推進します。
2. 各年代の体力に合わせた特徴的な運動・スポーツの提供や指導などの環境整備を図っていきます。
3. 健康施策を体系化しながら、家庭・地域・各種関係団体の関係者間の連携強化を推進します。



町民バレーボール大会



町民卓球大会

Ⅲ 町教育の基本方針と施策の方向性及び平成30年度の主な事業

基本方針	基本項目	施策の方向性
夢・感性あふれる教育と歴史文化香るまちづくり	1 就学前の児童養育	(1) 就学前児童の養育を図るため、幼児講座など公民館事業の充実を図る (2) 家庭・保育所・地域で綿密な連携を図り、幼児が健やかに成長を遂げるために、家庭教育など生涯を通した総合的な支援を行う
	2 学校教育	(1) 学校（間）・家庭・地域の三位一体により教育力の向上を図る (2) 夢を持ち、感性豊かな心とたくましい体を育てるため、学習環境の整備・充実を図る (3) 学校・家庭・地域で連携しながら、地域と歩む特色ある学校づくりを推進する (4) 高学歴志向の高まりや不安定な経済状況の中で、奨学金制度の充実を図る (5) 高等学校に通学する生徒の通学費の一部を助成し、保護者の負担軽減を図る
	3 生涯学習	(1) 町民のニーズに応じた幅広い講座や文化教室を推進し、内容の充実を図りながら、学習機会の促進を図る (2) 時代の流れに相应し、豊かな生活を体得できる生涯学習の環境整備を図る (3) 町民の学習意欲を向上させるため、学校・家庭・地域が連携した自主活動の仕組みづくりや体制整備を推進する
	4 図書館	(1) 本を介して親と子がふれあう機会を提供する (2) 図書館の活用と蔵書の充実・整理
	5 良寛記念館	(1) 良寛に関する歴史、民俗、美術品等の収集、保管および展示 (2) 良寛関係の資料等の調査及び研究 (3) 講演会、研究会等の開催、参加
	6 歴史・文化	(1) 由緒ある歴史施設や伝統ある文化芸術に接する機会を提供し、精神的な豊かさを体得できるよう努める (2) 芸術・地域伝統文化活動への参加を促し、その成果を発表する機会の充実を図る (3) 文化芸術団体の活動に対して、支援などの条件整備を図る (4) 文化財の保護とその活用 (5) 妻入りの街並み保全と環境整備 (6) 特色ある地域の文化遺産や民俗・風習等を集約し、出雲崎町の「宝もの」として、魅力ある町づくりに役立てていく
	7 運動・スポーツ	(1) 町民の健康づくりのため、計画的な各種スポーツ事業を推進 (2) 各年代の体力に合わせた特徴的な運動・スポーツの提供や指導などの環境整備を図る (3) 各種のスポーツ大会の開催を通じて、スポーツに親しみながら、健康の増進や、地域、職場やグループの交流、連携の育成に役立てる (4) 広域圏や体育協会等のスポーツ団体の活動を支援して、相互協力を図る (5) スポーツ推進委員活動の充実 (6) 多目的運動場を活用したスポーツ事業の推進
	8 施設の整備充実	(1) 学校教育施設の整備充実 (2) 社会教育施設の整備充実 (3) 社会体育施設の整備充実 (4) 良寛記念館の整備充実

平成30年度の主な事業等

- ・就学支援教育相談 ・教育支援委員会による個々にあった就学先の検討

- ・学校支援事業 コーディネーターやボランティアの養成・活用、スクールガード（下校時の一斉防災無線放送）
- ・奨学金貸与事業 ・小中連携強化 ・文化芸術観賞会 ・未来の夢子ども体験講演会 ・小中学校入学祝金支給
- ・電子黒板の活用 ・小学生俳句教室 ・良寛さんの心書道展 ・小学校理科支援員の設置 ・子育て教育講演会
- ・特別支援教育の推進 ・いじめ、体罰、不登校等の対応強化 ・いじめ見逃しゼロ運動 ・要保護児童生徒巡回指導
- ・通学バス運行 ・通学路の安全確保 ・キャリア教育の充実 ・防災教育の充実（中学校：県指定校）
- ・良寛学習（小中校連携して9年間実施）

- ・青少年教育事業 幼、少年を持つ親に対して学習の場を提供するとともに、少年期においては、学校教育と連携しながら、仲間づくりや自然とのふれあいの機会を通した人間関係の育成に努める
- ・一般教育事業 成人大学として良寛に関する学習をするほか、生涯学習講座として総合大学を実施するとともにパソコン等の各種教室を開設する
- ・文化活動 町内の文化活動を行っている関係諸団体と連携し、文化創作発表などを推進
- ・小中学校地域支援本部事業活動において、学校とコーディネーターや家庭・地域のボランティアの連携を図る

- ・図書館運営事業 幼児期に親子で本に親しむ機会をつくる「ブックスタート」や、親子文庫による子どもたちの読書活動への支援事業の実施
- ・図書館の蔵書の充実
- ・蔵書、新刊図書のデータ化作業の継続と町立図書館（海岸公民館と併設）と中央公民館（図書室）の利便性の向上を図る
- ・他施設と連携しての読書支援活動

- ・良寛記念館の譲渡を受け、『出雲崎町で生まれ育った良寛の遺墨や関連資料は、出雲崎町の貴重な財産であり、これらを良寛の遺徳とともに永く後世に引き継ぐことが重要である』ことから、町内外に“良寛生誕の地である出雲崎”の情報発信する
- ・良寛を通じて町民の郷土に対する認識を深め教育、学術文化の向上を図る

- ・町民の文化芸術観賞の機会の提供
- ・町内の文化活動を行っている関係諸団体と連携し、文化創作発表を推進
- ・公民館文化サークル育成事業 サークル活動を通して技能の向上と仲間づくりなど、生涯学習の基礎づくりをする（公民館文化サークル 陶芸、太極拳、大正琴、書道、ガーデニング、英会話、ちぎり絵）
- ・町内の文化財の周知と保護の意識の向上及び適正な管理保存
- ・文化財保護団体の保護活動への補助
- ・妻入りの街並景観推進協議会の活動支援と妻入りの街並み景観の保存と活用
- ・街並活性研究会と連携し、東京芸大生による街並みのスケッチ画を継続的に残す等の事業を行い、出雲崎を町内外にアピールする
- ・文化財保護団体の保護活動への補助
- ・探そう！生かそう！伝えよう！をテーマに町民から地域の「宝もの」を発見してもらい、それらを調査・活用していくことで、町民の視点で町の良さを町内外に発信する
- ・県営中山間地域八手地区総合整備事業に係る埋蔵文化財試掘調査の実施

- ・わんぱく水泳教室 ・柔剣道教室 ・小学生スポーツチャレンジ教室 ・テニス教室
- ・さわやかスポーツ教室 ・トレーニング教室 ・背骨コンディショニング教室 ・インディアカ教室
- ・スキー&スノーボード ・町民ウォーキング
- ・町民ソフトボール大会 ・町民バレーボール大会 ・町内ゲートボール大会 ・町民卓球大会
- ・町民ソフトバレーボール大会 ・屋内ゲートボール大会 ・町民バドミントン大会 ・町民登山
- ・柳津町・出雲崎町姉妹都市交流事業（青年野球・卓球・ゲートボール・中学校野球・バレーボール）【体育協会共催】
- ・出雲崎町近郷ゲートボール大会【体育協会共催】
- ・スポーツ推進委員活動の支援と各種研修会への参加
- ・コオーディネーショントレーニング教室（長岡地域定住自立圏事業）

IV 教育行政全般について

教育において昨年から社会的に問題化され、命に関わるいじめや体罰は避けられない課題です。本年度は、今までの課題の解消に向けてより充実した活動を推進していきます。子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中、個を伸ばす教育を推進し、「生きる力」を育み学ぶ意欲を重視した確かな学力の育成及び倫理観や人間性豊かな心の育成に努めます。

そこで、学校（間）・家庭・地域の連携を進めながら、子どもたち一人ひとりが自覚を持って、「学ぶ意欲」を高めることができる活動や学習環境を整備していきます。学校教育は、学校だけにまかせるものではありません。教育委員会も積極的に関わり、各分野で支援して参ります。

また、社会教育・社会体育活動においても、本町の充実した施設を活用して、地域特色を生かした取り組みで事業を実施します。町民みんなが、生き生きとした日々の暮らしの中でお互いに学び合い、健康で明るいまちづくりの社会形成ができるような施策を展開していきます。

▶教育費の概要（平成30年度当初予算）

一般会計全体 3, 260, 000千円

うち教育費 358,553千円

(単位：千円、%)

項 目	予 算 額	構成比	項 目	予 算 額	構成比
教 育 総 務 費	51,087	14.2	社 会 教 育 費	134,601	37.6
小 学 校 費	92,906	25.9	保 健 体 育 費	20,036	5.6
中 学 校 費	59,923	16.7	教 育 費 合 計	358,553	100

1 社会教育（生涯学習）について

本年度は、青少年や一般成人等を対象とした各事業について、学習ニーズの高まりや多様化に対応できるように内容の一層の充実を図っていきます。

さらに、自己実現や豊かな社会生活を実現するために、生涯を通じて学ぶことができ、その成果を適切に生かすことのできる機会の充実に努めます。

(1) 青少年教育

事 業 名	内 容	時期・回数	会 場
出 雲 崎 ッ ズ	小学生対象にレクリエーション、体験型の校外学習などの学習プログラムを通して積極性や社交性、自発的学習能力を養う	(夏休み) 年 5 回 (夜間) 年18回	中央公民館 町民体育館 ほ か
家庭教育学級	幼児期、少年期、思春期の身体的、ライフステージにおける教育支援を実施	年 1 回	各保育園 小学校 中学校
学びアシストいずも館	中学生対象に、難問題などを講師に質問し、課題を解決する。	年18回	中央公民館 多世代交流館
ノーメディア・デー	「0のつく日はノーメディア・デー」と定めメディア等に関わる時間を減らし家族とのふれあいや絆を深めるために実施	年35回	各 家 庭

放課後こども教室 放課後児童クラブ	放課後の安心安全な居場所づくりと学びの場を提供するために一体的に実施する。	年60回 通 年	小学校
----------------------	---------------------------------------	-------------	-----

(2) 一般成人教育

総 合 大 学	出雲崎町民の必要課題・要求課題を総合的に網羅した講座を開催することにより、住民の学習意欲を促進し、健康で文化的な活力にあふれ、生きがいのある生涯学習社会の実現を目的に開催する	年12回	中央公民館 ほか
パソコン教室	情報化社会に対応できるようパソコンの基礎技術を学ぶ	3コース 全18回	中央公民館
料 理 教 室	食の安全と健康を考えながら、手軽で簡単な調理方法を学ぶ	年 4 回	中央公民館
フラワー アレンジメント 教 室	季節の花を使った簡単アレンジの基礎を楽しく学ぶ。日常に潤いをもたらす。	年 6 回	中央公民館
コ ー ヒ ー セ ミ ナ ー	コーヒーの基本的な淹れ方や飲み比べ、楽しみ方を学ぶ	年 4 回	中央公民館
お う ち パ ン	自宅でフライパンなどを使い手軽で簡単な調理方法を学ぶ	年 4 回	中央公民館
絵 本 読 み 聞 か せ	子育て中の家族を対象に絵本に触れ合う機会を提供し、読書の大切さを学ぶ	年 4 回	中央公民館 ほか

(3) 文化サークル

陶 芸	土と炎がつくり出す焼き物の楽しさを習得し、趣味を広げる	毎週土曜日	中央公民館
太 極 拳	太極拳を通して、体力づくりとメンバーの親睦を深める	毎週水曜日	中央公民館
大 正 琴	大正琴を頭を使いながら楽しみ、仲間との交流を深める	毎月第2・4 火曜日	西越地区 農村環境改善 センター
ガーデニング	心に潤いをもたらすよう園芸の基礎を学ぶ	年 8 回程度	中央公民館
書 道	書道の基礎を学び、日ごろの生活へ活用する	毎月第1・3 木曜日	中央公民館
英 会 話	本場の英語にふれ簡単な英会話を学ぶ	毎月第2・4 木曜日	中央公民館
ち ぎ り 絵	ちぎり絵画の基礎を学ぶ	毎月第2・4 木曜日	中央公民館

(4) 文化活動

良寛さんの心 書 道 展	昭和56年に良寛没後150年を記念して開催された「良寛書道展」を引き継ぎ、現在は子どもたちに良寛さんの優しい心を継承するため、町内の小・中学生を対象に作品を募集展示する	9 月	中央公民館
-----------------	--	-----	-------

生涯学習 フェスティバル	公民館が実施している各種文化教室やサークル活動の発表の場を提供するほか、一般町民の芸術・文化に関する作品などを展示する	11月 2・3日	中央公民館 町民体育館
文化芸術鑑賞	文化芸術に対する知識と理解を深め、広く芸術鑑賞の機会を提供する	5月23日	町民体育館
良寛学習	良寛の遺徳と慈愛の精神を大切に思い、地域の誇りとして後世に語り継げるよう小中学校の9年間実施する	通年	小学校 中学校

(5) 公民館等の利用状況

(単位：人)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
中央公民館	11,406	12,289	12,031	11,549	10,908
海岸公民館	2,808	2,558	2,177	3,086	3,074
図書館等	2,715	2,684	2,896	2,512	2,149

2 図書館について

本年度の図書館事業についても、多くの町民が本に親しめるように、中央公民館ロビーの一部を図書スペースとして整備していますし、海岸公民館と併せて、今後さらに充実した図書の環境整備を進めていきます。

図書館蔵書冊数

平成30年4月1日現在

分類別 館別	000 総 記	010 哲 学	020 歴 史	030 社会科学	040 自然科学	050 技術、工学	060 産 業	070 芸術、美術	080 言 語	090 文 学	合 計	児 童 (再掲)	郷 土 (再掲)
海岸公民館	1,182	630	1,214	1,676	1,162	1,055	341	1,128	182	10,318	18,888	5,908	803
中央公民館	3,265	709	2,127	1,884	1,073	934	378	1,599	242	8,555	20,766	3,412	2,882
合 計	4,447	1,339	3,341	3,560	2,235	1,989	719	2,727	424	18,873	39,654	9,320	3,685

3 良寛記念館について

良寛記念館は、本町の貴重な歴史的、文化的遺産であり、良寛生誕の地として地域の誇りとするとともに、次世代へも確実に引き継いでいくため、良寛に関する資料の収集、保管及び展示をし、博物館としての機能充実に努めてまいります。

また、聖僧良寛を通じて町民の郷土に対する認識を一層深め、地域文化・教育の中核拠点として、解りやすい、親しみやすい事業を展開していきます。

さらに、良寛の遺徳をたたえ、永く後世に引き継ぐことが重要であり、町の良き歴史や伝統文化を町内外に情報発信していきます。

- (1) 収蔵資料の整理と適切な保管・管理
- (2) 魅力的な展示企画と好感もてる来館者への配慮
- (3) 広報活動の積極的な展開と関係団体との連携・協力
- (4) 学校教育・社会教育との連携強化

(5) 良寛記念館入館者数

(単位：人)

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
13,249	11,522	11,331	10,512	9,751



良寛記念館

平成28年8月に
「国の登録有形文化財」に登録
されました。

4 文化財行政について

歴史と文化があふれる本町は、町内にある文化財の保護・保存とそれを活用した文化の向上をめざしていきます。さらに、各地区に眠っている文化遺産や民俗・風習等に注目し、「まちの宝もの」としての発掘を推進していきます。

(1) 国の登録有形文化財一覧

名 称	登 録 番 号	所 在 地	所有者等	登録年月日
割 烹 み よ や	第15-0167号	羽 黒 町	大 矢 久 幸	H15. 7. 1
季節宿國安主屋	第15-0258号	田 中	國 安 誠 人	H19. 7.31
季節宿國安土蔵	第15-0259号	田 中	國 安 誠 人	H19. 7.31
良寛記念館展示棟	第15-0452号	米 田	出 雲 崎 町	H28. 8. 1
良寛記念館管理棟	第15-0453号	米 田	出 雲 崎 町	H28. 8. 1
良 寛 記 念 館 回 廊	第15-0454号	米 田	出 雲 崎 町	H28. 8. 1

(2) 新潟県指定文化財一覧

指定番号	名 称	所在地	所有者・管理者	指定年月日	備 考
彫 刻第28号	木造薬師如来坐像 1 体	滝谷薬師堂	大 門 正 応 寺	S 46. 4.13	平安末期
工芸品第26号	鰐口 1 点	滝谷薬師堂	滝谷薬師保存会	S 57. 3.26	応永33年
史 跡第 8 号	良寛生誕地 橘屋跡	石井町60の乙	出 雲 崎 町	S 27.12.10	江戸後期
史 跡第34号	尼瀬油田機械掘第 1 号井跡	尼瀬字町裏6-3	出 雲 崎 町	S 41. 3.18	明治中期
天 然 記 念 物 第 6 6 号	小木ノ城山の樹叢	相 田	出 雲 崎 町 新潟漁業協同組合 出 雲 崎 支 所	H 4. 3.27	

(3) 出雲崎町指定文化財一覧

内訳	指定番号	名 称	所在地	所有者・管理者	指定年月日	備 考
有形文化財	建造物第1号	薬師寺山門1棟	相 田	薬 師 寺	S 62.1.23	明治14年再建
	建造物第2号	季節宿国安物置	田 中	國 安 誠 人	H27.7.22	
	彫 刻第1号	木造阿弥陀三尊立像3体	相 田	薬 師 寺	S 62.1.23	南北朝
	彫 刻第2号	不動明王立像1体	相 田	薬 師 寺	S 62.1.23	江戸初期
	彫 刻第3号	不動明王立像1体	小 木	三 光 院	S 62.1.23	鎌倉末期 ～南北朝
	彫 刻第4号	観世音菩薩立像1体 (木喰作)	川 西	高 橋 ミヨキ	S 62.1.23	文化2.7 (1804)
	書 跡第1号	上杉景勝白願書1通	石井町	多 聞 寺	S 62.1.23	天正15.8.17 付(1587)
	書 跡第2号	堀秀治書状1通	米 田	鳥 井 儀 資 町 出 雲 崎 教 育 委 員 会	S 62.1.23	慶長10.8.28 付(1605)
	書 跡第3号	上杉謙信御願文1巻	相 田	薬 師 寺	S 62.1.23	永禄6.7.18 付(1563)
	書 跡第4号	良寛遺墨般若心經 他11点	米 田	出 雲 崎 町	S 62.1.23	
	古文書第1号	出雲崎・尼瀬分間絵図 1巻	石井町	多 聞 寺	S 62.1.23	文化7.6付 (1810)
	考 古 資 料 第 1 号	縄文土器1点	米 田	出 雲 崎 町	S 62.1.23	
	考 古 資 料 第 2 号	縄文土器・石器14点	稲 川	駒村善左工門	S 62.1.23	
	歴 史 資 料 第 1 号	良寛遺品法華経断片1紙	米 田	出 雲 崎 町	S 62.1.23	
	歴 史 資 料 第 2 号	良寛遺品布団縞切れ1点	米 田	出 雲 崎 町	S 62.1.23	
	歴 史 資 料 第 3 号	良寛遺品枕地蔵1体	石井町	出 雲 崎 町	S 62.1.23	
	歴 史 資 料 第 4 号	良寛遺品錫杖の環・笏 各1点	米 田	出 雲 崎 町	S 62.1.23	
	歴 史 資 料 第 5 号	算 額	滝 谷	滝谷薬師保存会	H20.4.25	明治2年
有形民俗	有 形 民 俗 第 1 号	船絵馬29面	羽黒町	羽 黒 神 社	S 62.1.23	明治16年 ほか(1883)
	有 形 民 俗 第 2 号	絵馬5面	船 橋	三 島 神 社	S 62.1.23	天明5年 ほか(1785)
無形民俗	無 形 民 俗 芸 能 第 1 号	出雲崎おけさ		伝 承 団 体 出雲崎おけさ保存会 秀 和 会	S 62.1.23	
	無 形 民 俗 芸 能 第 2 号	お船歌		伝 承 団 体 新潟漁業協同組合 出 雲 崎 支 所	S 62.1.23	
記念物	史 跡 第 1 号	小木城跡	相 田	出 雲 崎 町	S 49.3.23	南北朝
	史 跡 第 2 号	天河句碑(銀河序)1基	住吉町	出 雲 崎 町	S 62.1.23	昭和29年
	史 跡 第 3 号	赤坂山古戦場	乙 茂	出 雲 崎 町	S 62.1.23	
	史 跡 第 4 号	代官所跡	尼 瀬	出 雲 崎 町	S 62.1.23	
	史 跡 第 5 号	孝婦ゆりの碑2基	尼 瀬	善 勝 寺	S 62.1.23	

記念物	史跡第6号	俳諧伝灯塚2基	尼 瀬	妙 福 寺	S 62.1.23	
	史跡第7号	出雲崎代官所獄門跡	尼 瀬	出雲崎代官所 獄門跡保存会	H22.9. 9	
	天然記念物 第2号	宇奈具志神社の大椎	乙 茂	宇奈具志神社	S 62.1.23	
	天然記念物 第4号	大慶寺の大櫃	大 寺	大 慶 寺	S 62.1.23	
	天然記念物 第5号	延命寺のおんこう	別ヶ谷	延 命 寺	S 62.1.23	
	天然記念物 第6号	ユキバタツバキの生育地	中 山 相 田	中山 高橋健一ほか 三条市 斎藤雅	H25.2.25	
	天然記念物 第7号	三島神社の大杉	船 橋	三 島 神 社	H25.9. 5	
合 計	県 指 定	彫 刻 1 工芸品 1 天然記念物 1 史 跡 2				計 5 件
	町 指 定	建 造 物 2 彫 刻 4 書 跡 4 古 文 書 1 考古資料 2 歴史資料 5 有形民俗 2 無形民俗芸能 2 史 跡 7 天然記念物 5				計 34 件

5 社会体育について

町民一人ひとりが生涯健康でスポーツに親しみ、充実した生活が送れるように各種の体育事業を実施していきます。特に今年度は、近年の健康志向の機運向上を受け、社会人や高齢者向け教室を更に充実していきます。また、さわやかスポーツ教室などの、身体を動かす楽しさを実感できる事業を進めていきます。

(1) 町内大会・教室

大 会 名	期 日	対 象	会 場
第38回 町民ソフトボール大会	5月27日	一 般	町民野球場
第40回 町民バレーボール大会	7月8日	一 般	町民体育館
第12回 町民ウォーキング	9月30日	一 般	町 内
第37回 町内ゲートボール大会	10月4日	一 般	屋内ゲートボール場
第30回 町民ソフトバレーボール大会	10月28日	一 般	町民体育館
第32回 屋内ゲートボール大会	2月7日	一 般	屋内ゲートボール場
第3回 町民卓球大会	2月10日	一 般	町民体育館
第38回 町民パドミントン大会	3月17日	一 般	町民体育館
わんぱく水泳教室	7月30日～8月3日	児 童	町民プール
柔道教室	通 年	児 童	柔道場
剣道教室	通 年	児 童	町民体育館
柔剣道昇級審査会	12月2日	児 童	柔道：柔道場 剣道：町民体育館
さわやかスポーツ教室	通 年	一 般	町民体育館ほか
小学生スポーツチャレンジ教室	サッカー 5月～10月 バレーボール 5月～10月 卓球	児 童	サッカー：町民野球場 バレーボール、バスケットボール 卓 球：町民体育館

小学生スポーツチャレンジ教室	10月～12月 バスケットボール 10月～12月	児 童	
トレーニング教室	5月～3月	一 般	トレーニングルーム
背骨コンディショニング教室	5月～12月	一 般	町民体育館
ファミリースキー&スノーボード教室	2月17日	一 般	県内スキー場
インディアカ教室	1月～2月	児童・一般	町民体育館

(2) スポーツ推進委員研修会等

事 業 名	日 程	会 場
中越地区社会体育研究協議会	4月18日	長 岡 市
北陸地区スポーツ推進委員研修会	6月23日～24日	石川県白山市
新潟県スポーツ推進委員大会	9月22日～23日	佐 渡 市
二市三刈羽ブロック研修会	8月25日	刈 羽 村
中越地区社会体育総合研修会	3月10日～11日	湯 沢 町
全国スポーツ推進委員研究協議会	11月15日～16日	鹿児島県鹿児島市

(3) 長岡地域定住自立圏事業

事 業 名	日 程	会 場
コーディネーショントレーニング教室	7月～8月	町民体育館

(4) 体育協会（共催）関係事業

事 業 名	日 程	会 場
柳津町・出雲崎町姉妹都市交流事業	6月～11月	野球（中学校、青年）、 卓球、ゲートボール
第17回出雲崎町近郷ゲートボール大会	3月3日	屋内ゲートボール場

(5) 社会体育施設

施 設 名	設 置 年 月	面 積(m ²)	備 考
多目的運動場	平成30年4月	2,234	テニスコート2面 フットサルコート1面（テニスコート併用） フリースペース（テニス・サッカー 練習版設置） ナイター照明
町民体育館	昭和59年10月	2,799	バレーボールコート 3面 バスケットボールコート 2面 バドミントンコート 6面 トレーニングルーム 器具一式 （平成22年3月設置）
町民野球場	平成3年3月	10,799	ナイター照明 4基 外野グリーンサンド仕様

柔 道 場	平成5年6月	315	161.5畳
屋内ゲートボール場	平成5年6月	514	クレーコート 1面
屋内ゲートボール場(増設分)	平成15年1月	512	クレーコート 1面
町民プール	平成5年6月	400	競泳用プール 25m×8コース 遊泳用プール ウォータープレイシステム 1式 ウォータースライダー 20m

(6) スポーツ団体の状況

(平成30年4月1日現在、単位：人)

出雲崎町体育協会 7団体 267人			
構 成 団 体	会 員	構 成 団 体	会 員
野球協会	60	ゲートボール協会	77
バドミントン協会	10	卓球クラブ	21
出雲崎スカイヤーズ	18	てんてん手毬	15
出雲崎ランニングクラブ	20		

V 小中連携教育の推進



1 はじめに

出雲崎町には、小学校と中学校各1校が設置されている。町民にとって小中学校は、町内唯一の公的教育機関であり、町民の学校に寄せる期待は非常に大きなものがある。

当町では、小学校と中学校が各1校であるという特質を生かし、小中連携教育の推進をとおして、効果的な学校教育の充実に努めている。また、小中学校連携にあたっては、小学校と中学校の独自性を生かしながら、子どもの発達段階を踏まえて義務教育の9年間で自立した人間の基礎づくりに努めていく。

今年度は、「出雲崎町に誇りをもちたくましく生きる力」を身につけていくことを目指す。特に「知育・徳育・体育・財の魅力・郷土愛」の5つを重点に取り組むこととし、その為に保育園、小学校、中学校との連携を大切にする。

- ① き る 力（生きる力）の基本となる確かな学力を育成する教育の推進
- ② ずばぬけた（ずば抜けた）豊かな心、倫理観、規範意識をはぐくむ教育の推進
- ③ もえ る（燃える）夢をもち、健康でたくましい心身をはぐくむ教育の推進
- ④ ざい（財）である地域や宝物の魅力大切に教育の推進
- ⑤ きょうどあい（郷土愛）を軸としたキャリア教育の推進。

2 小中連携教育の基本的な考え方

小学校と中学校にはこれまで長い歴史の中で培われてきた独自の学校文化があり、この垣根を崩すことは一朝一夕にはできない。そこで、この文化の違いを前提にしながら、一方で連携できる部分を明らかにした、小中学校の一貫した指導計画に基づいた指導を推進する。

小中連携教育を成功させるための基盤となるのは、小学校と中学校両校の教員が互いの教育活動の内容について理解し合うだけでなく、小中学校の教員が忌憚なく話し合うことができる関係を築き上げることである。

また、小中連携教育の中核となるのは、“自尊感情”の育成である。“自尊感情”は、人間形成の基盤であり、学校教育でめざす「知」「徳」「体」を貫く最も重要な位置を占めるものであると考える。

このような視点に立って、次のような小中連携教育を進めていく。

(1) 教職員相互理解の推進

相互理解の基本は、両校の教職員が忌憚なく物事が言える関係を築くことである。そのために、教職員が一同に介した研修会や親睦を図る場を計画的に位置づけた活動を進める。

(2) 目的の明確化

9年間の義務教育を見通して、育てるべき子ども像を明確にした指導計画に基づいた教育活動を推進する。目標とする具体的な子ども像を明確化することによって、小中学校が共通の目標を持って一貫した教育を進めるための基盤とする。

(3) 発達段階を踏まえた指導

義務教育の9年間を見通して、学習面・生活面から発達段階を踏まえた指導を行う。

(4) 指導の効果の検証

効果的な指導には、適切、有効な評価が不可欠となる。目標があいまいになると、意図する評価が的確にできない。そこで、目指す子ども像を具体化し、その達成度を的確に評価できるようにする。

3 小中連携教育で期待する効果

今まで述べてきた小中連携教育の基本的な考え方に立ち、次のような教育的な効果を期待し、小中連携した教育活動を推進する。

- 「出雲崎町教育計画」によって、発達段階に応じた指導を明確にすることによって、共通の基盤に立って小中学校間で指導の成果や課題を明らかにした取り組みができる。
- 小中学校の一貫した教育活動により、中学入学に伴う環境変化に対応できない子どもの指導が効果的にできる。
- 町教育研究会を母体として、小中学校が共通の研究主題に設定することにより、小中学校の教員が共通の立場に立った研修を行うことによって教員の資質向上を図ることができる。
- 小中学校間で保護者や地域の要望等を共有し、家庭学習や学習習慣など一体となった指導ができる。

4 小中連携教育の実践

小中連携教育を効果的に行うために、次の2点に配慮した取組を行う。

1点目は自前の研修だけでなく、中越教育事務所による計画訪問により専門的な指導を受ける機会を設ける。2点目は教員相互の交流だけでなく、子ども同士の交流を深める場を計画的に設定する。

また、教育委員会の事業として、世界や日本の第一線で活躍する講師を招いての講演会を開き、子ども達の夢や勇気の高揚を図る。

○小中学校連携教育の具体的実践内容は次のとおりである。

- (1) 町教育研究会による、小中学校合同研修の実施
- (2) 「いじめ撲滅学校集会」での小中児童生徒の交流
- (3) 「未来の夢子ども体験講演会」における児童生徒合同講演会の実施

第1回 アルピニスト 野口 健氏

第2回 オリンピックメダリスト 有森裕子氏

第3回 数学者・大道芸人

ピーター・フランク氏

第4回 ダビンチ工房理事長 滝川洋二氏

第5回 JAXA研究員 細田聡史氏

第6回 元なでしこジャパン 大竹七未氏

第7回 元関取 舞の海秀平氏

第8回 作家 乙武洋匡氏

第9回 オリンピックメダリスト

中村真衣氏 (H29 未来の夢子ども体験講演会)

第10回 海の手配師 石垣幸二氏

第11回 元ビリギャル 小林 さやか 氏

- (4) 中学校英語科教育補助員の小学校外国語活動への派遣



5 本年度の小中連携教育活動

- (1) 5月2日(水) 第1回小中連携研修会・町教育研究会総会
- (2) 6月25日(月) 第1回中学校区計画訪問兼第2回小中連携研修会
- (3) 8月20日(月) 第3回小中連携研修会(特別支援教育)
- (4) 10月 第4回小中連携研修会(国語)
- (5) 11月 第2回中学校区計画訪問(重点強化訪問)
- (6) 11月16日(金) 小学校「ハッピーハート集会」へ中学校生徒会役員が参加。
- (7) 12月5日(水) 中学校「いじめ見逃しゼロスクール集会」へ小学校6年生全員が参加。
- (8) 生徒指導での行動連携【挨拶運動、リーダー研修会、いじめ見逃しゼロスクールの実施】
- (9) 保護者・地域と一体となった「0のつく日はノーメディアデー」の取組

Ⅵ 出雲崎町教育計画

1 出雲崎町がめざす教育の姿

出雲崎町教育計画

夢、感性あふれる教育

◎知・徳・体の調和がとれた人格の形成をとおして、主体的に学び、何事に対しても積極的に取り組む意欲をもち、学んだことを活用して問題解決に向けて努力する人間の育成

【学校運営】

- ◎明確な目標の下で取り組む、組織的な教育活動の推進
- ◎小中学校の連携の下、主体的に学ぶ子どもを育てるための一貫した教育の推進
- ◎一人一人の教育的ニーズを大切に特別支援教育の推進

【教職員】

- ◎指導力向上に向けた、組織的継続的な研修の推進
- ◎自己の職務を自覚し、職責を確実に遂行する教職員の育成
- ◎一人一人の子どもに向き合うことができる、信頼される教職員の育成

【家庭】

- ◎基本的な生活習慣の育成
- ◎家庭で行う基本的な規範意識の醸成
- ◎豊かな人間性を育む、家庭内の人間関係づくり
- ◎家庭学習の見取りと学習習慣確立のための支援

【地域】

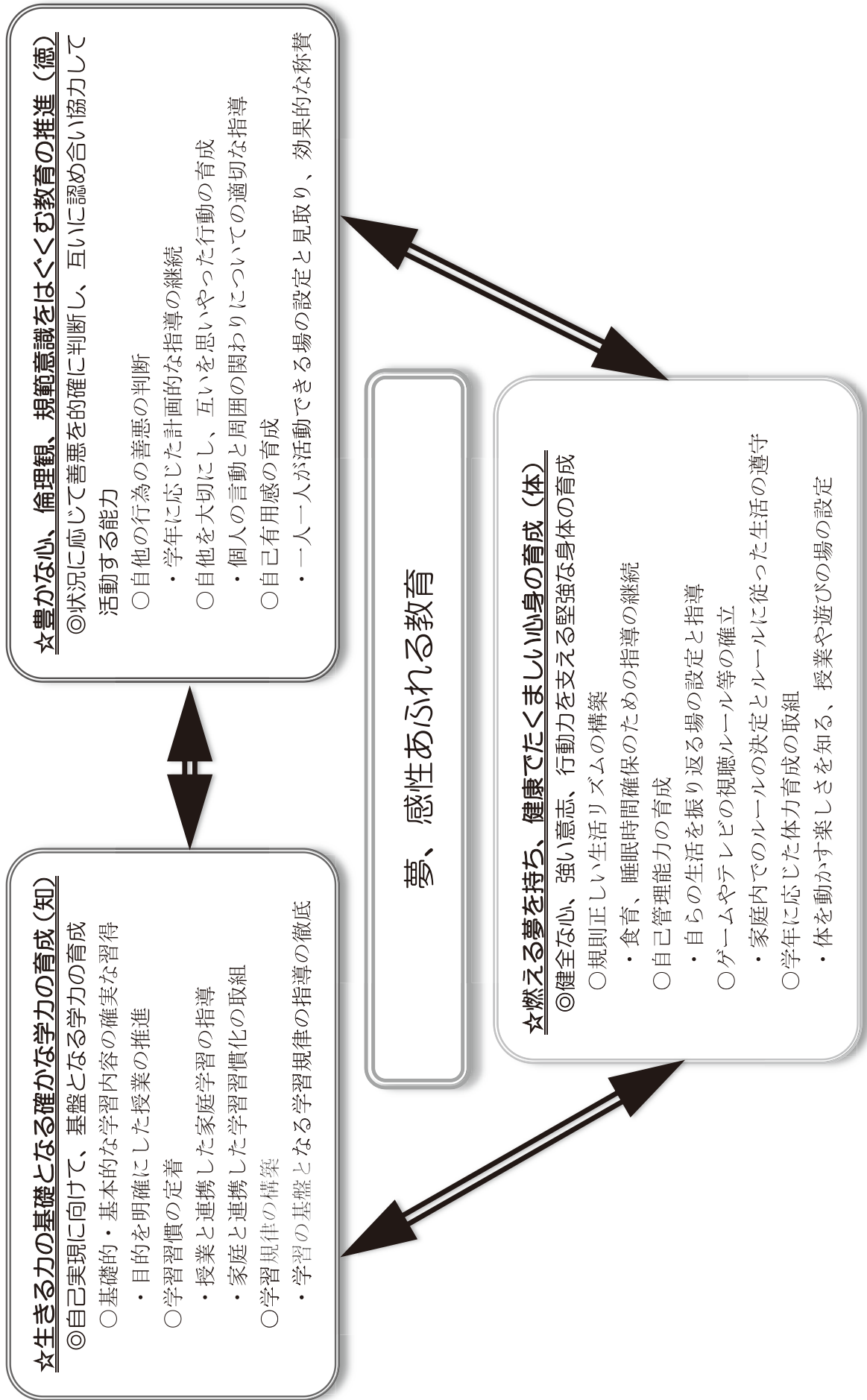
- ◎子どもの社会性を育む地域行事の実施
- ◎学校支援地域本部事業によるキャリア教育の推進
- ◎子どもの見守りと安全確保
- ◎「良寛」学習を支援するための教育的環境の整備

発達段階を踏まえた組織・計画的な指導

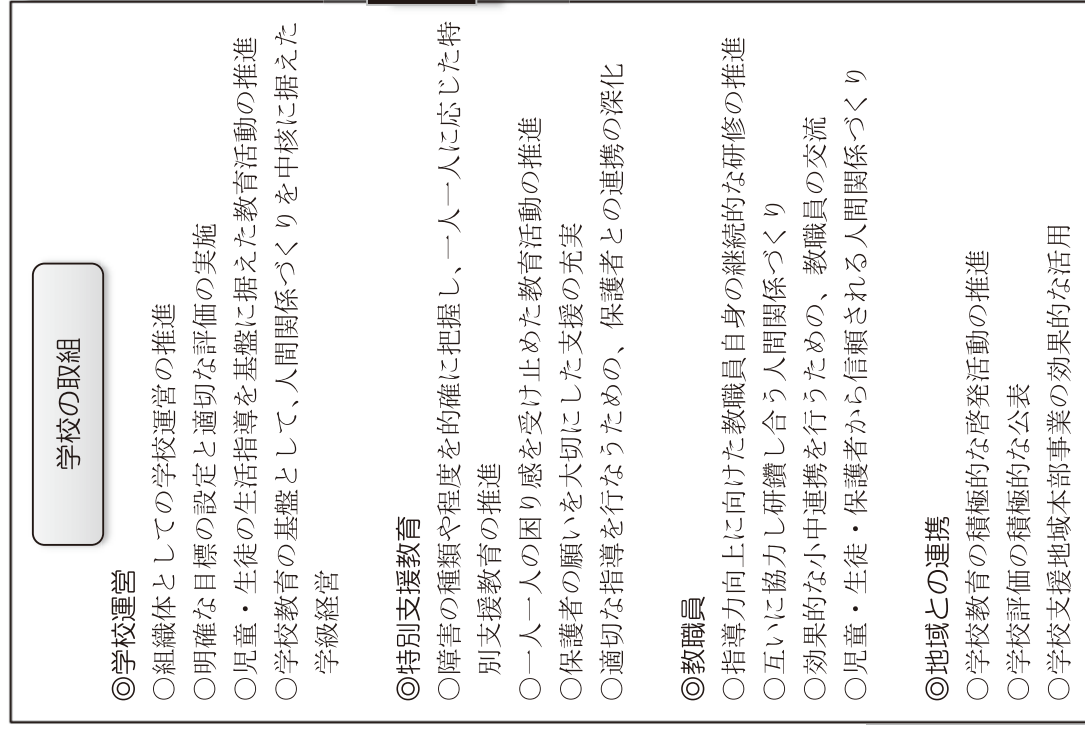
学校教育を支援する教育委員会の役割

- ◎学校と教育課題を共有し、課題解決に向けた教育基盤の整備
- ◎地域や保護者のニーズに応える、学校教育体制づくりの支援
- ◎家庭教育と学校教育の連携を円滑にするための体制づくりの推進
- ◎学校教育を円滑に行うための、行政や他の関係機関との連携
- ◎地元の偉人「良寛」を柱とした、郷土愛を培うキャリア教育の推進

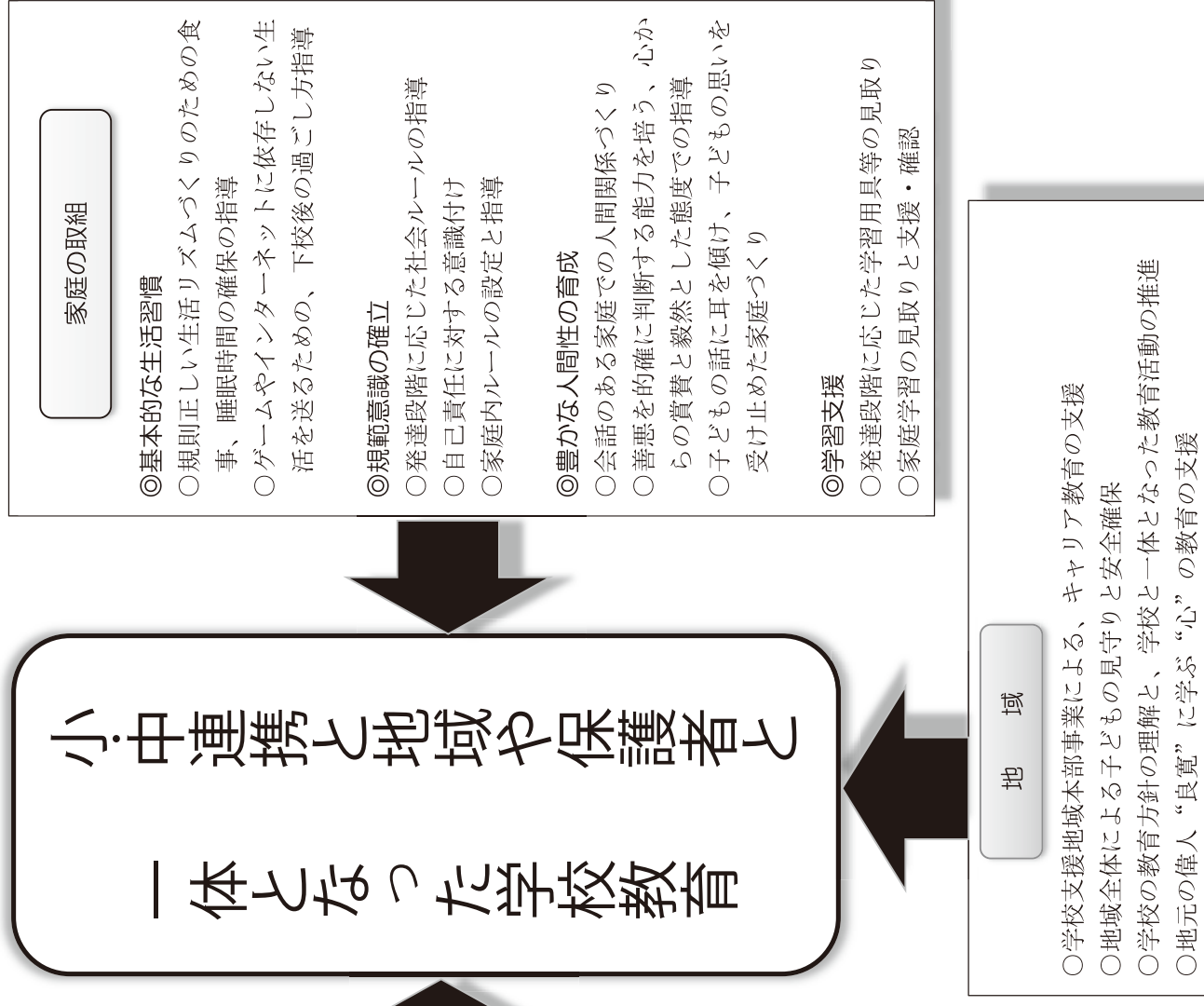
2 学校教育の基本的な理念



3 学校や家庭の具体的な取組

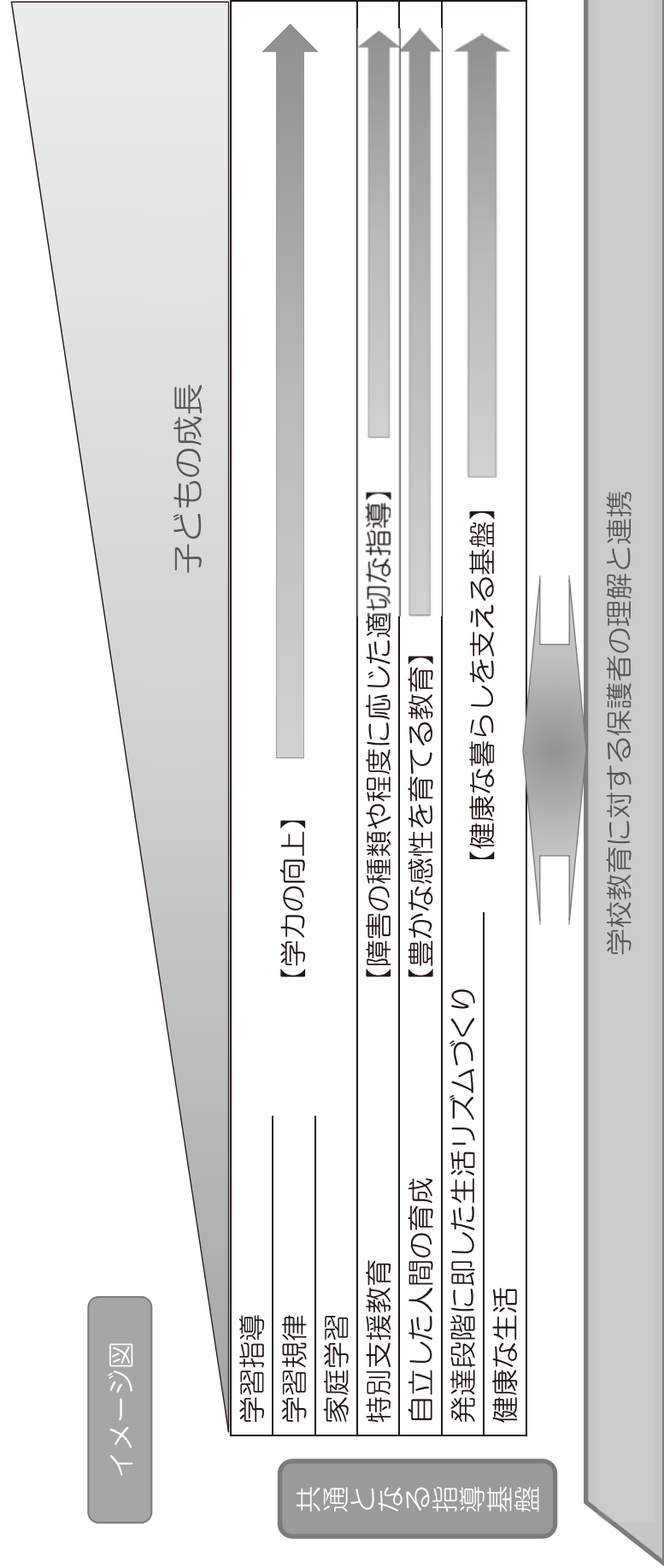


小・中連携と地域や保護者と 一体となった学校教育



4 出雲崎町の小中連携による一貫教育の意義

- 1) 小学校と中学校が共通の基盤の上に立った指導により、義務教育9年間を一貫した指導方針の下で子どもを育てることができる。
 - 2) 小学校と中学校が共通基盤に立った指導を行なうことにより、子どもの実態について小中学校で共通理解を図ることができる。
 - 3) 小中学校の教職員が交流を通して、それぞれの指導の実態について理解を深めることによって、より効果的な指導を進めることができる。
 - 4) 小中一貫教育を進めることにより、中学校入学に伴う環境変化に対応できない子どもへの対応をより効果的に行うことができる。
 - 5) 出雲崎町としての教育方針が保護者に対して明確になり、保護者と一体となった教育を進めることが可能となる。
- ※ 指導にあたっては、学校教育の課題に応じて指導内容を焦点化し、取組の進捗状況を勘案して指導内容を検討する
- ※ 学力向上の基盤として、「言語活動」に焦点化した教育活動に取り組む



5 出雲崎町教育計画（発達段階における領域別指導内容）

夢、感性あふれる教育

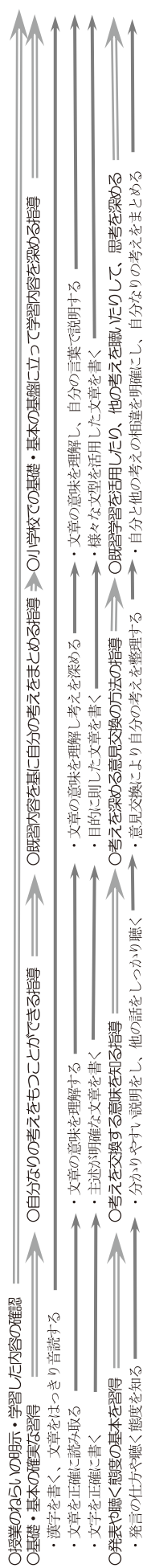
【知】 CRT 100以上 NRT 50以上	【徳】 規範意識をもち他と協力して活動できる子どもが80%以上	【体】 自らの生活を振り返り、目標達成度が80%以上
------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------

《具体的な目標》

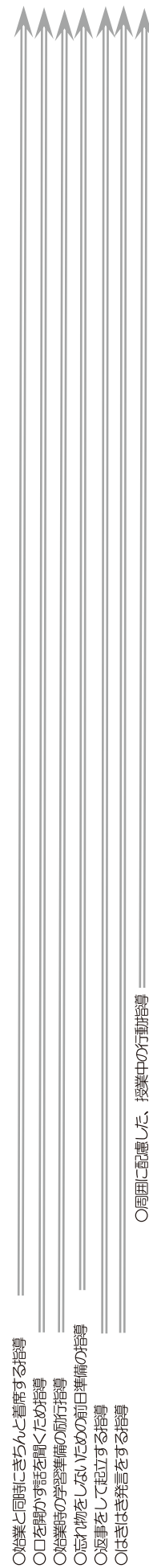
	小 学 校	中 学 校
	小1・2・3・4	中1 中2・3
発達区分毎の ねらい	小学校教育の特質を生かし、きめ細かな指導による基本的な生活習慣の確立や授業における基礎的・基本的な内容の定着を図る。 学級づくりをとおして、互いを尊重することや規則を守ることの大切さを理解させる。	小学校で身に付けた学習内容を基に主体的に学習する態度を指導する。 生活面では、中学生として規律ある生活態度を育成する。
	9年間を見通した系統だった指導計画の作成と遂行	
学習 (知)	具体物や体験的学習による、数や言葉の基本的事項の確実な理解の徹底	学習内容を自分の言葉で説明できる能力の育成
	授業中の姿勢・持ち物等の基本的な事項の指導	主体的な学習準備・授業終始のけじめ指導
生活	聞き方・話し方の基本的な指導	状況に応じて積極的に学習に取り組む主体的な態度の育成
	発達段階に応じた授業と結びつけた家庭学習の確立	
生活	家庭学習の習慣化	主体的に取り組む家庭学習の指導と支援
	豊かな感性を備えた自立した人間の育成	
(徳)	発達段階に応じた規範意識の確立・集団活動の基本的なルール徹底	開放的な人間関係の育成
	決まりや約束事に従って友人と活動できる態度の育成	集団の一員として他者と協力して活動する態度の育成
(徳)	自分のよさに気づかせる指導	自分の個性を理解すると共に、言動が他者に及ぼす影響の指導
	自分の気持を伝えることができる	相手の考えを受け止め・尊重し、自分の考えを建設的・協力的に伝える
(体)	発達段階に即した基本的な生活リズムの確立	
	食事、睡眠時間の基本的な生活リズムの指導の徹底	基本的な生活の重要性の指導
特別支援教育	一人一人の障害に応じた関係機関と連携した継続的な指導	
	障害の種類・程度の把握による教育支援計画の作成	支援ファイルの活用による継続的な指導
	児童・生徒の的確な実態把握と困り感に基づき、保護者との相互理解に基づく指導内容の見直し及び関係機関と連携した指導の推進	
	適正進路の選択	

6 出雲崎町教育計画（指導系統図）

【学習指導】



【学習規律】



【家庭学習】



24

-24-

小学校入学

小学校・中学校

小学校・高学年

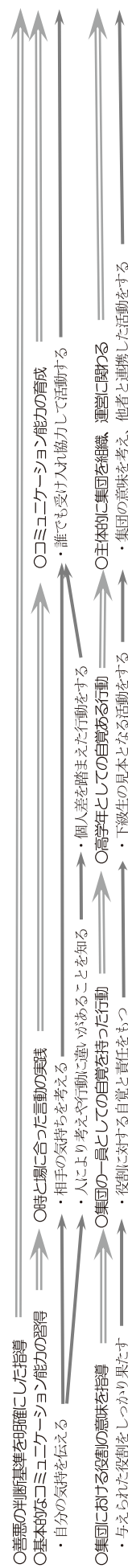
中学校入学

義務教育・高等学校

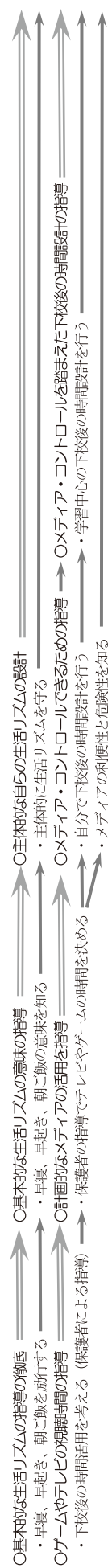
【特別支援教育】



【生活（徳）（その場での適切な指導が基本）】



【生活リズム（体）】



Ⅶ 各種教育計画の大綱

〔出雲崎小学校〕



校長 吉田順一



1 教育目標

だれとでも仲よくする子 すすんで学び とりくむ子

○ めざす児童像について

子どもたちは、いろいろな人とかかわりながら心を成長させていく。「うまくいくこと」もあれば「うまくいかないこと」もある。しかし、それらを粘り強く一つ一つ乗り越え、積み重ねていくことが本人の中で「自信」となり成長の足跡として残って行く。

子ども同士が互いを認め、励ますことでその作用はさらに強くなる。この「仲間意識」を醸成することは、学校の大切な役割のひとつである。出雲崎に生きる子どもたちにつけたい力である。子どもたちの好奇心は旺盛で、学びたいという気持ちをもっている。「させられる」ことが「したい」ことになったとき、真の学びが始まる。

そして、「できなかったことができるようになった。」という達成感や自分のしたことが「みんなの役に立ってよかった」などの自己有用感が育まれ、「自分は、なかなか頑張ったな」という自尊感情が基になり自主性が育つ。

さらに、そこに自分の将来を思い描きながら、今の自分に何が大切なのかを考え、粘り強く目標に向かって努力を重ねられる子どもたちにしたい。

みんなで励まし合い、力を合わせて活動すると



心が豊かになり、本当の楽しさを感じることができる



「またみんなと一緒にやりたい」「自分の力を伸ばしたい」
「もっと楽しくなるように工夫したい」「自分も、みんなの役に立ちたい」
「他の人にもこの楽しさを一緒に味わってもらいたい」。

教育目標はこういう気持ちを育てていく中で育まれていく。その具現に向けて学校、保護者、地域が三位一体となった取組を進める。

2 子供たちにつけたい力

知・徳・体のバランスのとれた力を育んでいきたい。

『知』：基礎基本を身に付けた確かな学力こそが仲間とともに学ぶ原動力となる。
そのために「聞く・話す」力の伸長は欠かせない。そして「学ぶ」意欲の向上を図っていく。

『徳』：仲間を思いやる心こそ、基本である。

『体』：最後まであきらめないでがんばろうという「気力・体力」が全ての活動を支える。

これらを総合した力を「出雲崎学力」と規定し、出雲崎の子供を育てていく。

3 教育目標具現への歩み

昭和53年に西越小学校上校舎・下校舎が統合し、新校舎が現在地に竣工した。平成12年に旧出雲崎小学校と統合し、現在の出雲崎小学校となってから今年度は19年目を迎える。校地は小高い丘にあり、校舎裏はナラの木が茂る貴重な里山である。そこは「ほなみが丘」と名付けられ、小鳥がさえずる自然豊かなオアシスで、子どもが大好きな遊び場になっている。

地域の人々は協力的で、登下校の安全確保や学校ボランティア等に積極的で、共に子どもを育てていこうとする良き気風に溢れている。そういった環境の中で伸び伸びと子どもたちは育ってきている。

28、29年度は「宝がいっぱい！出小！！」を合い言葉とし、一人一人が出小の宝物を探してきた。30年度は、「3つの愛～学び愛、励まし愛、響き愛～」を新たな合い言葉とし、子どもたち同士のかかわりを大切にした教育活動を展開していく。

4 教育目標具現のための「推進力」

地域の力

出雲崎町は、豊かな自然・歴史・文化・産業等に恵まれている。そのほとんどが教材に活用できるほど、教育財産の宝庫である。また、学校支援地域本部事業の成果により、当校の教育活動に地域の専門家の協力態勢がしっかりできている。29年度も、1年間で延べ800名近くの学習ボランティアから、子どもたちの学びに協力をいただいた。また、町のスクールバス等を最大限に活用した地域学習も充実することができた。この地域と一体となった学びは、出雲崎小学校の教育の特色であり、今後一層、成果があがるように改善していく。

また、27年度発足した「ほなみが丘またぎ」の皆さんからは、29年度もほなみが丘の整備だけにとどまらず、校庭の樹木の伐採や雪山づくりなど大いに活躍いただき、感謝している。

保護者の力

保護者と学校は互いに子育てのベストパートナーでありたい。連絡を密にして、家庭の教育力やPTA活動など、大いに保護者の力を借りる。信頼関係を構築し、双方向の連絡が取り合えることを心がける。電話や連絡帳より“face-to-face”が基本と肝に銘じる。

教職員の力

支え合い、磨き合う教職員集団でありたい。

ア 児童の最大の教育環境は教職員

真似るが学ぶの語源。教師の言動、教育への情熱、人間関係力等の手本を示す。

イ 児童理解と個に応じた指導

一人一人の「困り感」に寄り添い、解消に向けて取り組む。

ウ 問題解決は、全教職員の英知と行動力を結集

「報告・連絡・相談・確認」を最重視し、組織的な対応や実践を進める。

エ 児童、保護者、地域との信頼関係づくり

非違行為を出さない、生まない規範意識の高揚

非違行為根絶に向けて、互いに声がけし意識を高め合う。

5 今年度、力を入れて取り組む具体策

児童の実態と学校の実情を考え、次の3つの柱からの具体的な取組を通して、子どもたちの健やかな成長を図っていく。

○確かな学力の向上

- ・朝読書、朝学習の充実
- ・授業のUD化の推進
- ・家庭学習の徹底（学年×10分を基本）
- ・「問い」を大切にした授業改善
- ・発表の場の充実

○豊かな心の育成

- ・「心耕」を大切にした活動の充実
- ・家庭と連携した自己有用感の育成
- ・道徳教育の充実
- ・特別支援教育の充実
- ・交流活動の改善と充実

○健やかな体づくり

- ・体力向上プログラムの実践
- ・健康的な生活習慣の定着
- ・メディアコントロール能力の育成
- ・遊びの充実を図る環境整備
- ・食育教育の充実

《平成30年度 出雲崎小学校グランドデザイン》



今年度の合い言葉

3つの愛～認め愛、励まし愛、響き愛～



合い言葉に込めた想い

一人一人が個人として認め合えること、そして仲間として励まし合えること、その結果として出雲崎小学校として素晴らしいハーモニーを響かせ合っていけることを願い、「合い」と「愛」をかけて、覚えやすい今年度の合い言葉としました。



教育目標

だれとでも仲よくする子 すすんで学びとりくむ子

目指す児童像（重点目標）

互いに尊重し合う子ども

・思いやりと助け合い・自らを高める

意欲的に学ぶ子ども

・「確かな学力」の向上・学び合う姿

達成のための3本の柱

「確かな学力」向上のために

- 朝読書、朝学習の充実を図り、基礎学力を徹底して身につかせます。
- 授業のUD化を意識し、個人の困り感に対応した指導を心がけ、確かな学力（基礎・基本）の定着を図ります。
- 家庭学習を毎日するように指導を徹底します。学年×10分
- 児童の「問い」を大切にしたい授業改善を推進し、児童の意欲の向上を図ります。
- 授業等での発表の場を充実させ、表現力を高めます。

【達成目標】

- ◆ステップアップテスト（漢字・計算）で全ての児童が90点以上になることを目指します。
- ◆学力検査（CRT）の達成率、全国比で全教科100以上を目指します。
- ◆家庭学習を1日（学年×10分）以上する児童が80%以上になることを目指します。
- ◆アンケート（年2回）で「授業が分かる」「進んで取り組んだ」と答える児童が、常に80%以上を目指します。
- ◆総合学習（良寛学習、英語活動等）で力をつけたと評価できる児童が90%以上になることを目指します。

豊かな心の育成のために

- 出小の伝統「心耕」を大切に活動と指導を活発に行い、豊かな心を育てます。
- 基本的生活習慣の定着と向上、自己指導能力の育成のために、保護者・地域と一致協力（行動連携）した指導を実施します。
- 「命を大切にする心」を育てる道徳教育を充実し実践します。
- 特別支援教育や特別活動、異学年交流等を通して、思いやりと助け合いの心を育てます。
- 児童同士、児童と地域の触れ合いの場を多く設定し、信頼関係と健やかな心の育成に努めます。

【達成目標】

- ◆いじめや差別の問題や不登校児童が常に「0」を目指す。
- ◆「発達段階に応じた基本的生活習慣が身に付いている」と評価（教員・保護者）できる児童が80%以上になることを目指します。
- ◆道徳教育の評価が、4段階評価で3.0以上の評価を目指す。
- ◆保護者・地域アンケートで「豊かな心育成のための教育活動」に対する評価が90%以上になることを目指します。
- ◆アンケート（年2回）で「学校が楽しい」「友だちと仲良くできた」と答える児童が、常に90%以上を目指す。

健やかな体づくりのために

- 体力向上のためにプログラム化した運動を体育等の活動時に実践し、進んで健康な体づくりに励む児童を育てます。
- きちんとした健康生活習慣が身につくように保健学習や学級指導、給食時の指導を徹底します。
- メディアコントロール能力を育てるための家庭ルール作りを奨励していきます。
- 学校の施設設備を充実し、遊びが十分できる環境にします。
- 発達段階に応じた食育のための学習を充実し、児童の健全な発達を促します。

【達成目標】

- ◆体力テストで、全国平均以上の項目が80%以上になることを目指します。
- ◆アンケートで「進んで運動した」「健康生活習慣をきちんとした」と答える児童80%以上を目指します。
- ◆性教育、望ましい食習慣の授業を全学年で実施し、アンケートで「意識が高まった」と答える児童が80%以上になることを目指します。
- ◆「体力の向上」「健康づくり」に関する評価（教員）が4段階評価で3.0以上の評価になることを目指します。

学・社・民の融合による教育の推進

信頼される学校

特別支援教育の推進

6 年間授業時数

教科領域	各 教 科									道 徳	特 別 活 動				総合的な学習	外国語活動	合 計
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育		*児童集会を含む	学級活動	学校行事	クラブ活動			
学年																	
1 年	306 (9)		136 (4)		102 (3)	68 (2)	68 (2)		102 (3)	34 (1)	9	34 (1)	33				892
2 年	315 (9)		175 (5)		105 (3)	70 (2)	70 (2)		105 (3)	35 (1)	9	35 (1)	32				951
3 年	245 (7)	70 (2)	175 (5)	90 (2.6)		60 (1.7)	60 (1.7)		105 (3)	35 (1)	11	35 (1)	33		70 (2)	15 (0.4)	1004
4 年	245 (7)	90 (2.6)	175 (5)	105 (3)		60 (1.7)	60 (1.7)		105 (3)	35 (1)	13	35 (1)	34	10	70 (2)	15 (0.4)	1052
5 年	175 (5)	100 (2.9)	175 (5)	105 (3)		50 (1.4)	50 (1.4)	60 (1.7)	90 (2.6)	35 (1)	25	35 (1)	45	10	70 (2)	50 (1.4)	1075
6 年	175 (5)	105 (3)	175 (5)	105 (3)		50 (1.4)	50 (1.4)	55 (1.6)	90 (2.6)	35 (1)	25	35 (1)	45	10	70 (2)	50 (1.4)	1075

7 主な学校行事

1 学 期	2 学 期	3 学 期
4/ 6 新任式・始業式 4/ 9 入学式 4/14 P T A奉仕作業 4/20 学習参観・P T A総会 4/25 1年生を迎える会 スクールガードボラン ティア面識会 5/ 1 ふた葉班オリエンテーリング 5/ 9 交通安全教室 5/19 運動会 5/23 文化芸術鑑賞会 5/31・6/1 6年修学旅行(佐渡) 6/ 5 避難訓練 6/ 9 オープンスクール・子 育て講演会 7/2~6 作品展 7/3~5 個別懇談 7/24 終業式 7/27 全校海水浴	8/28 始業式 9/3~7 夏休み作品展 9/6・7 5年自然教室(妙高) 9/13 市郡親善陸上大会 (6年参加) 9/19 避難訓練(児童引渡し 訓練) 9/26 マラソン大会 10/ 3 秋の遠足 10/11 就学時健康診断 10/20 音楽発表会・絵画展 10/ 未来の夢子ども体験講 演会 11/ 8 市郡親善音楽会 (5年参加) 11/17 ふた葉まつり 12/ 4 学習参観 12/24 終業式	1/ 8 始業式 1/10 書き初め大会 1/15~18 書き初め展~20日 1/16 学習参観 1/25 避難訓練 1/30・31学力テスト 2/ 5 スキー教室(5・6年) 2/ 8 スキー教室(4年) 2/13 新1年生 移行学級 2/18 弁当の日 2/18~22 校内版画展 2/22 学習参観・学年懇談会 2/28 6年生ありがとう集会 3/ 4 卒業・進級認定会 3/22 終業式 3/25 卒業証書授与式 3/26 離任式

8 児童数

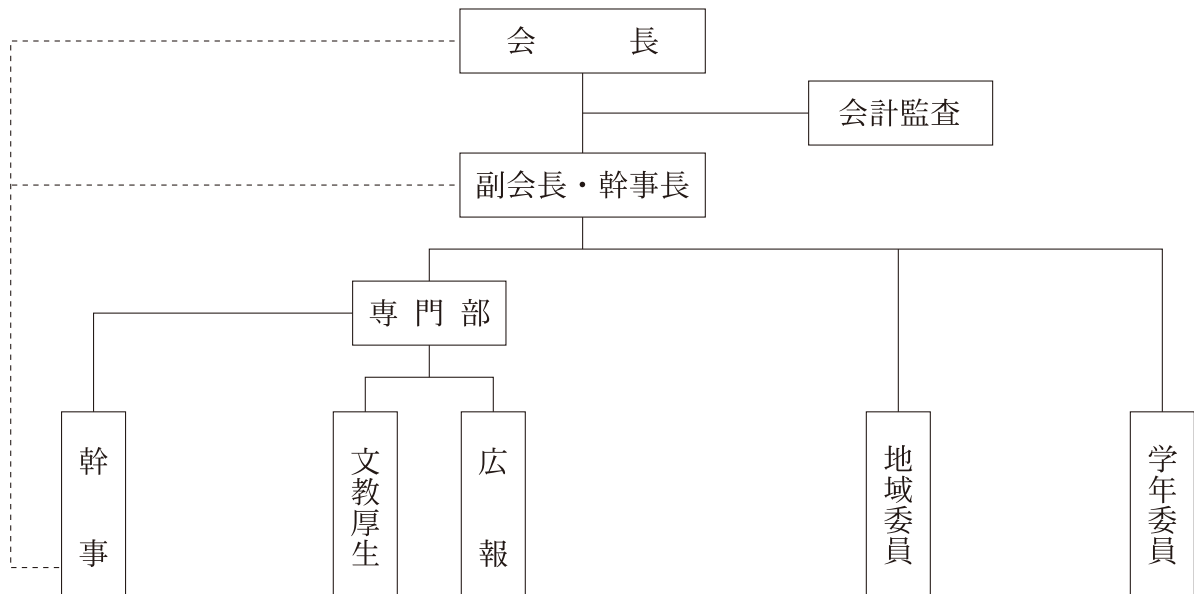
(平成30年5月1日現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援			合 計
							くるみ1	くるみ2	くるみ3	
男 子	4	10	15	7	12	15	4	1	6	74
女 子	13	17	5	13	15	13	3	4	1	84
合 計	17	27	20	20	27	28	7	5	7	158

9 職員一覧表

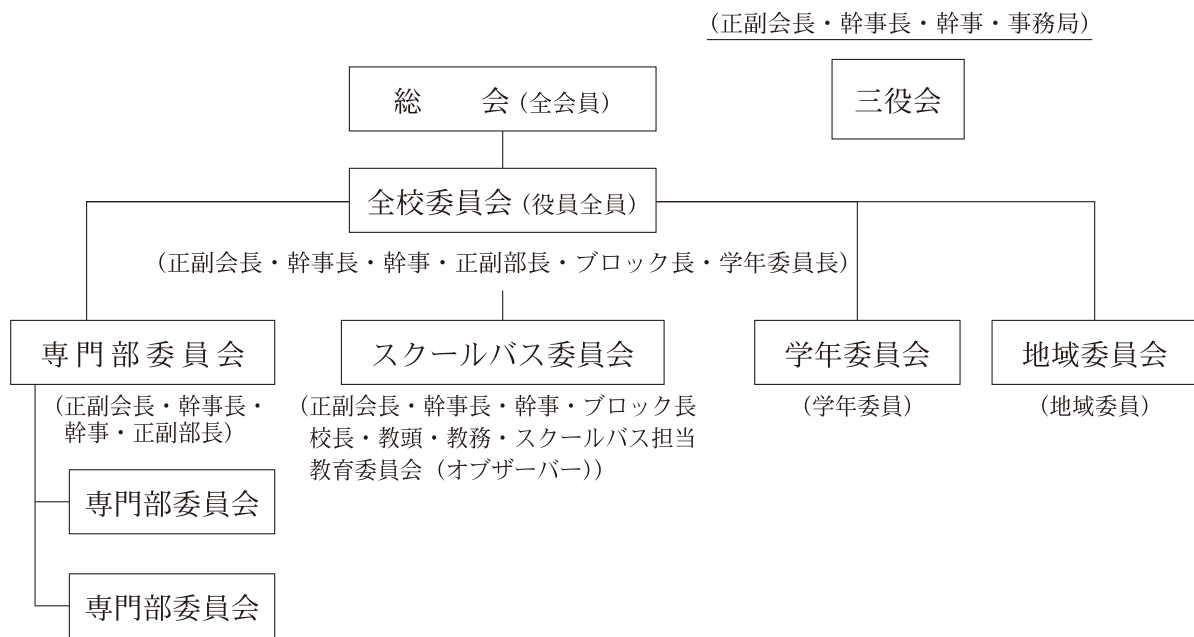
No.	職 名	氏 名	主 な 分 掌 ・ 担 当 学 年 等	備 考
1	校 長	吉 田 順 一	学校経営	
2	教 頭	有 坂 一 郎	学校運営、後援会、P T A事務局	
3	教 諭	藤 原 晃 徳	教務主任、P T A事務局、後援会、キャリア教育	
4	教 諭	青 柳 勇 治	副教務主任、生活指導主任、町P T A事務局、運動部主任	
5	教 諭	加 藤 夕 香	特別支援学級担任、器楽部主任、P T A広報部	
6	教 諭	三 國 益 栄	3年担任、国語主任、総合主任	
7	教 諭	清 水 健 一	5年担任、研究主任、外国語活動主任、情報教育主任	
8	教 諭	野 沢 富士子	特別支援学級担任、特別支援コーディネーター、巡回相談	
9	教 諭	貝 瀬 斉 子	1年担任、副研究主任、音楽主任、算数主任	
10	教 諭	細 貝 泰 子	6年担任、社会科主任、特活主任、P T A文教厚生部	
11	教 諭	本 間 洋 平	4年担任、体育主任、理科主任	
12	教 諭	中 澤 満 幸	2年担任、道德教育推進教師、生活科主任	
13	教 諭	小 堺 遥	特別支援学級担任、図工主任、福祉ボランティア	
14	助教諭	渡 部 尚 美	少人数学習、図書館教育主任	
15	養護教諭	渡 邊 まりな	学校保健、保健主事、食育	
16	主 事	千 野 翔 揮	学校事務、財務、庶務	
17	栄養教諭	杉 山 朝 子	給食指導、食育	兼 務 (本務校出中)
18	教員補助員	織 田 三恵子	特別支援教育、音楽、庶務	
19	教員補助員	岩 田 映 子	特別支援教育、算数、外国語、庶務	
20	教員補助員	山 後 加奈子	特別支援教育、音楽、庶務	
21	介助員	山 田 米 子	児童介助	
22	介助員	権 頭 和 美	児童介助	
23	介助員	伊 藤 好 美	児童介助	
24	介助員	渡 邊 奈津美	児童介助	
25	調理師	平 沢 昌 宏	給食調理	
26	調理員	片 桐 正 子	給食調理	
27	調理員	小 黒 悦 子	給食調理	
28	用務員	山 後 俊 市	用務、校地・校舎整備	
29	理科支援員	齋 藤 信	理科補助	
30	情報支援員	山 田 豊	情報教育補助	
31	教員補助員	増 田 政 子	外国語活動	兼 務 (本務校出中)
32	A L T	Daniel Recupero	外国語活動	

10 P T A組織



会 長	南波 久敏				
副会長	坂下 一恵	和田佐知子			
幹事長	磯木 修吾				
幹 事	上杉 陽子	高橋美枝子	磯邊はるみ	小黑 宏和	

P T A 会 議 図



〔出雲崎中学校〕

学 校 経 営



校長 中林左知男



1 教育目標

「豊かな心 たくましい実践」

A Iが人間を脅かす存在となりつつあり、少子高齢化や所得格差が進み、ますます生きにくい時代になってきている。また、義務教育では新学習指導要領への移行、道徳の教科化、働き方改革、カリキュラムマネジメント、部活動問題、いじめ・不登校・自死の問題、特別支援教育の実践…等、解決しなければならない課題も山積している。

このような時代だからこそ、生徒が自分の将来に夢や希望をもつことが大切であり、困難に対して「たくましく生きる力」つまり「生き抜く力」を身につけさせる使命を学校は担っている。また自分の良さに気付き、仲間と力を合わせ、困難な課題を乗り越える力を育てることも求められている。教育目標「豊かな心 たくましい実践」を基本に、教職員が一つのチームとなり連携・協働し、組織的・計画的に学校課題に取り組み、次のスローガンを達成して行く。

スローガン

「出雲崎に愛着と誇りをもち、自分の夢に向かって、粘り強く挑戦し、
未来を切り拓く、たくましい生徒」

2 学校経営の基本

（1）目指す学校像

- 1 目標に向かって挑戦し、一人一人の良さを発揮できる学校
- 2 授業・学校行事・諸活動において「生徒の主体性」を重視し、仲間と協同することで生きる力を高める学校
- 3 教育課題を家庭・地域・学校間で共有し、課題解決に向けて連携・協同する学校

（2）目指す生徒像

- 1 学ぶ喜びを感得し、支え合って、ともに学ぼうとする生徒
- 2 人権意識を高め、自分や相手の良さがわかり、互いを尊重する生徒
- 3 生活習慣やメディアコントロールの大切さを知り、自ら健康・体力向上に取り組む生徒
- 4 毎日の日常活動を大切に、着実な取り組むを継続できる生徒（凡事徹底）
- 5 生徒会活動や学校行事、地域行事に真剣に取り組む生徒（社会貢献）
- 6 進路に向けて考え、努力し、未来を切り拓く力を身に付けようとする生徒

（3）目指す職員像

- 1 組織の一員として、参画・協働でき、一枚岩となれる職員
- 2 学力向上のための授業改善や研修に取り組み、生徒とともに学び続ける職員
- 3 保護者や地域の願いに耳を傾け、期待に応える職員
- 4 非違行為をしない、させない、許さない職員
- 5 生徒・保護者・地域から信頼される職員
- 6 安心・安全な学校づくりに心を配る職員
- 7 陰で支え、周到な準備で生徒が全面で活躍できる活動をつくれる職員
- 8 ゴールを互いに見据え、活動を組み立てる職員集団
- 9 常に笑顔で、ゆとりがあり、生徒の変化に敏感な職員

3 具体的方策

(1) 確かな学力の向上と定着を図り、生徒の学ぶ意欲を育てる教育の推進

- 学習規律を確立し、ともに学び合うという観点から学習ルールを定着させる。
- 「学ぶ喜びを感じ得る授業」を目指し、授業改善と指導力の向上に努める。
- 家庭学習の習慣化を図るために、実態に合った取組を家庭や小学校と連携して行う。

(2) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進

- 互いの良さに気づき、課題解決のためにファシリテーション・クラス会議等の手法を実践させる。
- 生徒会活動・学校行事・体験活動・地域貢献活動の充実を図り、生徒一人一人が他人の役に立つ経験を通して、自己有用感を醸成する。
- 地域人材を生かした道德の授業づくりに取り組むとともに、学年部単位による人権教育・同和教育の充実を図る。

(3) 実効性のある職員研修の充実

- 指導者として生徒のよさを伸ばす活動を組織し、生徒との信頼関係を構築する。
- 「集団づくり」に重点をおき、ルールとリレーションを徹底し、横並びの人間関係づくりに取り組み、温かく親和的な集団づくりを目指す。
- 研修計画に基づき、職員一人一人が授業改善に取り組むとともに、研修も職員での「学び合い」を軸にして展開する。
- 次期学習指導要領の実施に向けて、本校の生徒の実態に合ったカリキュラムマネジメントを実践していく。

(4) 気力や体力の向上・望ましい生活習慣の定着

- 授業や部活動、行事を通して生涯にわたって健康で生活できる気力・体力を育む。
- 自らの生活を律し、メディアコントロールと「早寝・早起き・朝ごはん」を通して健康的な生活をおくることができる生徒を育てる。

(5) 特別支援教育・インクルーシブ教育の充実

- 特別支援教育やインクルーシブ教育を推進するために校内研修を実施し、校内整備に率先して取り組む。また小学校・特別支援学校・医療機関・町当局と連携を図る。
- さわらび学級に在籍する生徒や通常学級在籍であるが、支援の必要な生徒の実態把握に努め、対応を図る。また、UDLの視点を取り入れた環境づくり・授業づくりに取り組む。

(6) 保護者や地域との連携と小中一貫教育の推進

- 町教育推進計画に基づき、9年間の小中一貫教育の方針が明確である。この共通した基盤の上に、授業公開や学力向上・授業改善のための小・中・高の連携を推進し、効果的な教育を展開する。
- 学区の幼・保・小・高や隣接する市町村の学校と情報を共有するとともに、地域に出向き、学校に対する意見・要望に耳を傾け、保護者や地域のニーズに応えられるよう整備していく。

(7) 部活動の充実

- 部活動については、国や県のガイドラインを参考に「出雲崎中学校部活動の方針」を基本とする。部活動は教育的な意義や効果が大きく、3年間継続して活動することが望ましい。また教職員もそのような活動となるよう努力する。
- 部活動は、年度途中での転部や退部等の課題もある。課題を明確にし、町当局とも連携しながら、改善を進めていく。今年度は、部活動の参加体制も見直し検討を図った。その効果を検証するとともに、今後の部活動の在り方についても検討する。

(8) その他

- 情報教育については、生徒の実態にあった施設整備を町当局と連携して計画的に整備していく。先進的な学校を視察する機会をもち、本校に合った情報機器の整備を進めていく。
- 冷暖房の新設にともない、校地校舎の一層の活用を考えると同時に、環境整備に努める。特にグラウンドや前庭、学級花壇等の整備、空き部屋の有効利用を考える。

4 年間指導時数の配当

	教 科									道 徳	学 級 活 動	総 合 的 な 学 習	合 計
	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術 ・ 家 庭	英 語				
一 年	140 (4)	105 (3)	140 (4)	105 (3)	45 (1.3)	45 (1.3)	105 (3)	70 (2)	140 (4)	35 (1)	35 (1)	50 (1.4)	1015 (29)
二 年	140 (4)	105 (3)	105 (3)	140 (4)	35 (1)	35 (1)	105 (3)	70 (2)	140 (4)	35 (1)	35 (1)	70 (2)	1015 (29)
三 年	105 (3)	140 (4)	140 (4)	140 (4)	35 (1)	35 (1)	105 (3)	35 (1)	140 (4)	35 (1)	35 (1)	70 (2)	1015 (29)

5 進路指導の大綱

(1) 指導の重点

ア 生徒一人一人の個性・能力・適性の把握に努め、その発達段階に応じた進路情報、啓発的経験及び進路相談を通して、将来の進路選択が主体的かつ適正に行われるよう指導・援助する。

イ 卒業後の生活によりよく適応し、自己実現を図ることができるよう継続的に指導する。

(2) 具体的な方策

- ・進路指導計画に基づき、効果的な進路の学習を進める。
- ・各種検査・進路相談を実施し、結果を指導に生かす。
- ・発達段階に応じた適正な進路情報を与える。
- ・保護者会・家庭訪問を通して進路選択や決定での保護者の理解と認識を高める。

6 主な学校行事

1 学 期		2 学 期		3 学 期	
4/ 6	始業式	8/28	始業式	1/ 8	始業式、書初大会
4/ 9	入学式	9/ 8	体育祭	2/7・8	期末テスト
4/11～13	修学旅行(3年)	9/21	郡市新人陸上	2/21	同窓会入会式
5/17・18	中間テスト	10/ 3・4	郡市新人各種大会		良寛学習修了授与式
5/24・25	郡市陸上大会	10/11・12	中間テスト	3/ 4	第47回卒業式
5/28	避難訓練	10/20	学習発表会	3/ 6	公立高校一般検査
6/5・6/6	郡市各種大会	10/24	避難訓練	3/ 7	公立高校独自検査
6/21・22	期末テスト	11/ 8	総合1日体験活動日	3/25	終業式、離任式
7/4・5	地区各種大会	11/19・20	期末テスト		
7/24	終業式	12/21	終業式		

7 生 徒 数

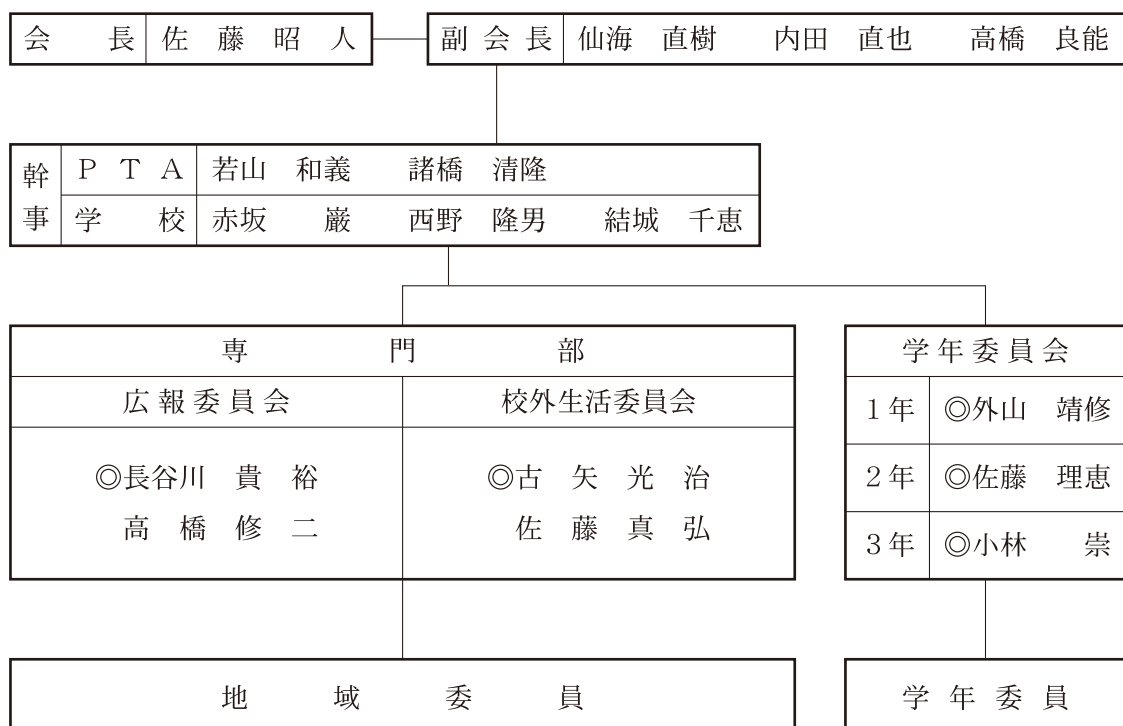
(平成31年5月1日現在)

	1 年	2 年	3 年	さ わ ら び	合 計
	1 組	1 組	1 組		
男 子	18(3)	19(2)	9(2)	7	4 6
女 子	19(0)	13(0)	15(1)	1	4 7
学年計	37(3)	32(2)	24(3)	8	9 3

8 職 員 一 覧

No.	職 名	氏 名	学年・学級	担 当 教 科	校 務 分 掌
1	校 長	中 林 左知男			学校経営
2	教 頭	西 野 隆 男		英語	同窓会、後援会
3	教 諭	野 中 いずみ	さわらびB組担任 1年副任	保健体育	特別支援コーディネーター、 バレーボール・吹奏楽部、奉仕委員会
4	教 諭	佐 藤 義 雄	さわらびA組担任 2年副任	保健体育	バレーボール部、応援団
5	教 諭	霜 田 哲 彦	3学年主任	技術	進路指導主事、野球部、 学年委員会
6	教 諭	赤 坂 巖	教務主任 1年副任	数学	教務主任、卓球部女子、 P T A事務局
7	教 諭	齋 藤 真 理	1年1組担任	国語	研究主任、学習指導、卓球部女子、 図書委員会
8	教 諭	岡 本 世史治	1学年主任	音楽	人権同和教育、学年委員会、 吹奏楽部
9	教 諭	渡 辺 嘉 章	2学年主任	社会	生活委員会、卓球部男子
10	教 諭	山 本 裕 美	2年1組担任	数学	学籍・出席統計、野球部、 学年委員会、道徳教育推進教師
11	教 諭	内 山 貴 啓	3年1組担任	英語	グローバル人材育成、 バレーボール部、生徒会主任
12	教 諭	村 山 真 子	3年副任	理科	環境教育、卓球部男子、 奉仕委員会
13	養護教諭	遠 藤 愛 子	2学年副任		保健主事、教育相談、健康委員会
14	主 任	結 城 千 恵			学校事務
15	栄養教諭	杉 山 朝 子	1学年副任		学校給食、健康委員会
16	非常勤講師	岩 渕 恵 子		家庭	週1回(水)
17	非常勤講師	笠 原 利 章		美術	週1回(金)
18	A L T	Danie lRecupero			
19	教育補助員	佐 藤 聖 子	2年副任	数学	
20	教育補助員	増 田 政 子	3年副任	英語	
21	介 助 員	安 達 美奈子	さわらび学級副任、 3年副任		
22	介 助 員	田 口 統 子	さわらび学級副任、 1年副任		
23	用 務 員	内 山 諒			
24	調 理 員	近 藤 小百合			
25	調 理 員	石 坂 彩 香			
26	調 理 員	平 田 典 子			
27	心の教室 相 談 員	長谷川 潤 子			
28	ス ク ー ル カ ウ ン セ ラ ー	高 梨 琢 哉			

9 P T A 組 織



4 月 9 日(月) 入学式



4 月11～13日 修学旅行（奈良・京都）



修学旅行（夜間体験・型友禅）



修学旅行（班別研修・京都）



出雲崎中学校グランドデザイン

生徒の実態

- ・素直で明るく素朴である。
- ・より向上しようとする意欲に欠ける面がみられる
- ・自学の習慣が身につけていない。
- ・郷土の自然や文化への関心が薄い。

地域や保護者の願い

- ・素直で、やさしく、活発な人間に育つことを望んでいる。
- ・古くからある歴史、文化を理解し、出雲崎町に誇りをもち、将来出雲崎町のために尽くす人間に成長して欲しいと考えている。
- ・個人として自立し、自ら判断し、行動できる人間になって欲しいと願っている。

教育目標 豊かな心（徳）たくましい実践（知）（体）

30年度の重点課題 ・人間関係づくり（徳） ・学力の向上（知）

年度重点目標 = 育てたい生徒の姿
 たくましい実践（知）意欲をもって、わかるまで、できるまで学ぶ生徒
 豊かな心（徳）目的をもって自己に挑戦し、自ら鍛える生徒
 豊かな心（徳）お互いを思いやる、心優しい生徒

年度の努力事項

出雲崎町教育計画

出雲崎町がめざす教育の姿
 夢をもち、感性豊かで、
 たくましい心と体
 （知）9年間を見通した系統だった指導計画の作成と遂行
 （知）発達段階を追った学習規律の確立
 （知）発達段階に応じた授業と結びついた家庭学習の確立
 （徳）豊かな感性を備えた自立した人間の育成
 （体）発達段階に即した基本的な生活リズムの確立
 （特別支援）一人一人の障害に応じた関係機関と連携した継続的な指導

重点目標	徳：お互いを思いやる心優しい生徒	知：意欲をもってわかるまでできるまで学ぶ生徒	体：目的をもって自己に挑戦し自ら鍛える生徒
努力事項	1 相手の立場を考えて行動するコミュニケーション能力を育成する。 2 互いに関心を持ち、関わり合う活動を通して自己肯定感、自己有用感を育む。 3 人権教育・同和教育の充実を通して、差別や偏見をしない・させない人間関係づくりを醸成する。	1 知識・技能の着実な習得と、活用場面の充実を通して、学びの実感を育む。 2 言語活動の充実を通して、考えを深められる生徒を育成する。 3 キャリア教育の充実を通して、学ぶ意義や目的を見出し、主体的に学ぶとする意欲を育む。	1 具体的な目標をもって、継続的に体力の向上を図ろうとする生徒を育成する。 2 自己管理に対する高い意識をもち、基本的な生活習慣（メディアコントロール・睡眠時間・食生活）を確立する生徒を育成する。

目標達成計画

	自己肯定感・自己有用感	学力向上	体力の向上
成果	・多くの生徒が「自分にもよい点がある」「集団の役に立っている」と実感して学校生活を送る。	・12月のまとめテストの結果が基準を上回る。	・新体力テストで、各学年男女で県平均を超える項目を1つ以上増やす。
教育活動	ア 専門委員会や学級の係活動などで自分の役割を果たす。 イ 生徒会活動において、決められた仕事だけでなく、自分で気づいて仕事を行う。	ア チャイムと同時に学習活動に取り組む。 イ 繰り返し学習したり、より難しい課題に取り組んだりする。 ウ 毎日60分以上家庭学習に取り組む。	・運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。
運営活動	ア 一人一人の役割を明確にし、望ましいモデルを示して指導する。 イ 生徒会活動において、何のための活動か、どんな役に立つ活動かを毎月生徒に指導する。	ア チャイムと同時に行う学習活動を毎時間準備する。 イ 習得や活用場面を明確にした授業を展開する。 ウ 終学活で家庭学習カードの予定を毎日点検する。	・新体力テストの結果を分析し、生徒一人一人の課題に基づいたトレーニング法を指導する。 （自主トレーニングカードを活用し、6ヶ月後の数値向上を目指したトレーニングを行わせる。）
成果	・多くの生徒が安心して過ごせる学校、学級集団であると感じる。	・学ぶ意義や目的を明確にし、意欲的に学習に取り組む生徒の割合が増える。	・基本的な生活習慣の確立 ・「ハッピーライフワーク(睡眠調査)」で、守るべき健康増進項目を意識しながら生活できる生徒を増やす。
教育活動	ア 相手が言いたいことを考えながら、人の話を聞くことができる。 イ 悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できる。	ア 理解や解決の過程を説明したり丁寧に書いたりする。 イ ワークに計画的に取り組む、期限を守って提出する。 ウ 進路や生き方に関する目標を設定し、体験活動に取り組む。	・自分で起床し、登校することができる。
運営活動	ア 望ましい傾聴のモデルを念頭において、授業や特別活動で傾聴の仕方を指導する。 イ 日々の生徒の様子や変化を捉えて、生徒に進んで声かけを行う。	ア 毎単元で学び合いや関わり合いが生まれる学習課題や学習形態等を工夫する。 イ 提出物の期限や取り組み方を継続して定期的に指導する。 ウ 総合的な学習の指導で、事後のまとめ方を見通して、事前の指導を行う。	・「ハッピーライフワーク(睡眠調査)」を行い、個々の睡眠の調査、面談による生徒指導を行う。

評価サイクルによる評価の実施

学校評価（内部評価・外部評価・学校関係者評価）

評価結果の公表（保護者、地域）

次年度の課題・改善へ

特別支援教育

目標 一人一人の特別な教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を行うことにより、将来的に自立した社会生活を送るための基礎的・基本的な知識と技能を身に付けさせる。

1年時
 ◎中学校生活のリズムを掴ませ、学校生活への適応を促す
 ◎生徒の状況を正しく伝え、保護者との連携を強める

個別指導の充実

2・3年時
 ◎自己理解を促し、自分の適性に合わせて良さを伸ばし、自己肯定感を高める
 ◎生徒の状況を正しく伝え、保護者との連携を強める
 ◎進路に目を向けさせ、学習・生活の自立を促進する

教育委員会関係役員名簿



教 育 長
佐 藤 亨



委 員
(教育長職務代理者)
村 越 隆 夫



委 員
内 山 才 子



委 員
佐 藤 正 志



委 員
大 磯 多 華 子

1 教 育 委 員

(平成30年 6 月 1 日現在)

氏 名	備 考	任 期
佐 藤 亨	教 育 長	平成30年 4 月 2 日～平成33年 4 月 1 日
村 越 隆 夫	教育長職務代理	平成28年10月27日～平成32年10月26日
内 山 才 子	委 員	平成28年10月27日～平成32年10月26日
佐 藤 正 志	委 員	平成29年10月18日～平成33年10月17日
大 磯 多 華 子	委 員	平成29年10月18日～平成33年10月17日

2 社会教育委員

氏 名	備 考
磯 部 友記雄	学識経験者
高 桑 佳 子	町議会総務文教常任委員長
中 林 左知男	出雲崎中学校長
南 波 久 敏	出雲崎小学校PTA会長
欠 員	

4 図書館協議会委員

氏 名	備 考
中 林 左知男	出雲崎中学校長
吉 田 順 一	出雲崎小学校長
曾 根 良 子	出雲崎町婦人会長
渡 邊 毛 卜	学識経験者
高 桑 佳 子	学識経験者
田 中 秀 和	学識経験者
遠 藤 枝里子	学識経験者

3 公民館運営審議会委員

氏 名	備 考
磯 部 友記雄	学識経験者
高 桑 佳 子	町議会総務文教常任委員長
吉 田 順 一	出雲崎小学校長
曾 根 良 子	出雲崎町婦人会長
遠 藤 達 実	学識経験者
渡 邊 毛 卜	学識経験者
田 中 秀 和	学識経験者

5 文化財調査審議会委員

氏 名	備 考
渡 邊 常 侃	委員長
生 田 恒 憲	
磯 部 友記雄	
田 中 文 明	
田 中 宥 暢	
吉 田 隆	
佐々木 高 史	
欠 員	

6 生涯学習推進委員会委員

氏 名	備 考
磯 部 友記雄	社会教育委員長
高 桑 佳 子	町議会総務文教常任委員長
吉 田 順 一	出雲崎小学校長
中 林 左知男	出雲崎中学校長
南 波 久 敏	出雲崎小学校PTA会長
曾 根 良 子	公民館運営審議会委員
田 中 秀 和	公民館運営審議会委員
丸 山 国 夫	体育協会会長
磯 木 ヨシエ	町商工会女性部常任委員
田 中 文 明	文化財調査審議会委員

7 スポーツ推進委員

氏 名	備 考
大 谷 清 一	協議会長
安 部 和 久	
丸 山 国 夫	
高 桑 佳 子	
佐 藤 弘 子	
河 野 洋	
小 林 裕 子	
田 口 浩 司	

8 スポーツ推進審議会委員

氏 名	備 考
大 谷 清 一	委員長
安 部 和 久	
丸 山 国 夫	
高 桑 佳 子	
佐 藤 弘 子	
河 野 洋	
小 林 裕 子	
田 口 浩 司	

9 青少年問題協議会委員 ◎会長

氏 名	備 考
◎小 林 則 幸	出雲崎町長
山 田 正 志	副町長
高 桑 佳 子	町議会総務文教常任委員長
加 藤 修 三	町議会社会産業常任委員長
権 田 孝 夫	保健福祉課長
村 越 隆 夫	教育長職務代理者
佐 藤 亨	教育長・公民館長
磯 部 友記雄	社会教育委員長
河 崎 政 則	民生児童委員会長
山 崎 信 義	出雲崎保護司会
野 澤 一 昭	与板警察署川西駐在所
吉 田 順 一	出雲崎小学校長
中 林 左知男	出雲崎中学校長
森 川 幸 彦	出雲崎高等学校長
荒 木 啓 之	与板地区少年警察ボランティア連絡会
海 野 知 現	出雲崎保育園長
菅 ハナエ	小木之城保育園長
磯 部 芳 江	出雲崎更生保護女性会長

10 教育課職員

職 氏 名	主な担当
教 育 長 佐藤 亨	兼公民館長・図書館長
教育課長 矢島 則幸	総 括
参 事 矢川 浩之	社会教育
社会教育係長 渡辺 一敏	社会教育
庶務学校教育係長 吉岡 育子	庶務学校教育
主 任 山崎 健太	庶務学校教育
主 任 小林ひろ子	社会教育
主 事 小岩 悠樹	社会教育
主 事 萩野みのり	社会教育
管理指導主事 高畑 秀紀	学校教育
事務職員 竹村しのぶ	図書館・海岸公民館
事務職員 小川真紀子	中央公民館・体育館
用 務 員 小林 秋子	中央公民館
用 務 員 柴田 圭一	町民体育館
良寛記念館	館 長 永寶 卓
	学 芸 員 渡部 祥子
	事務職員 小黒 晴美
	事務職員 大久保淳子

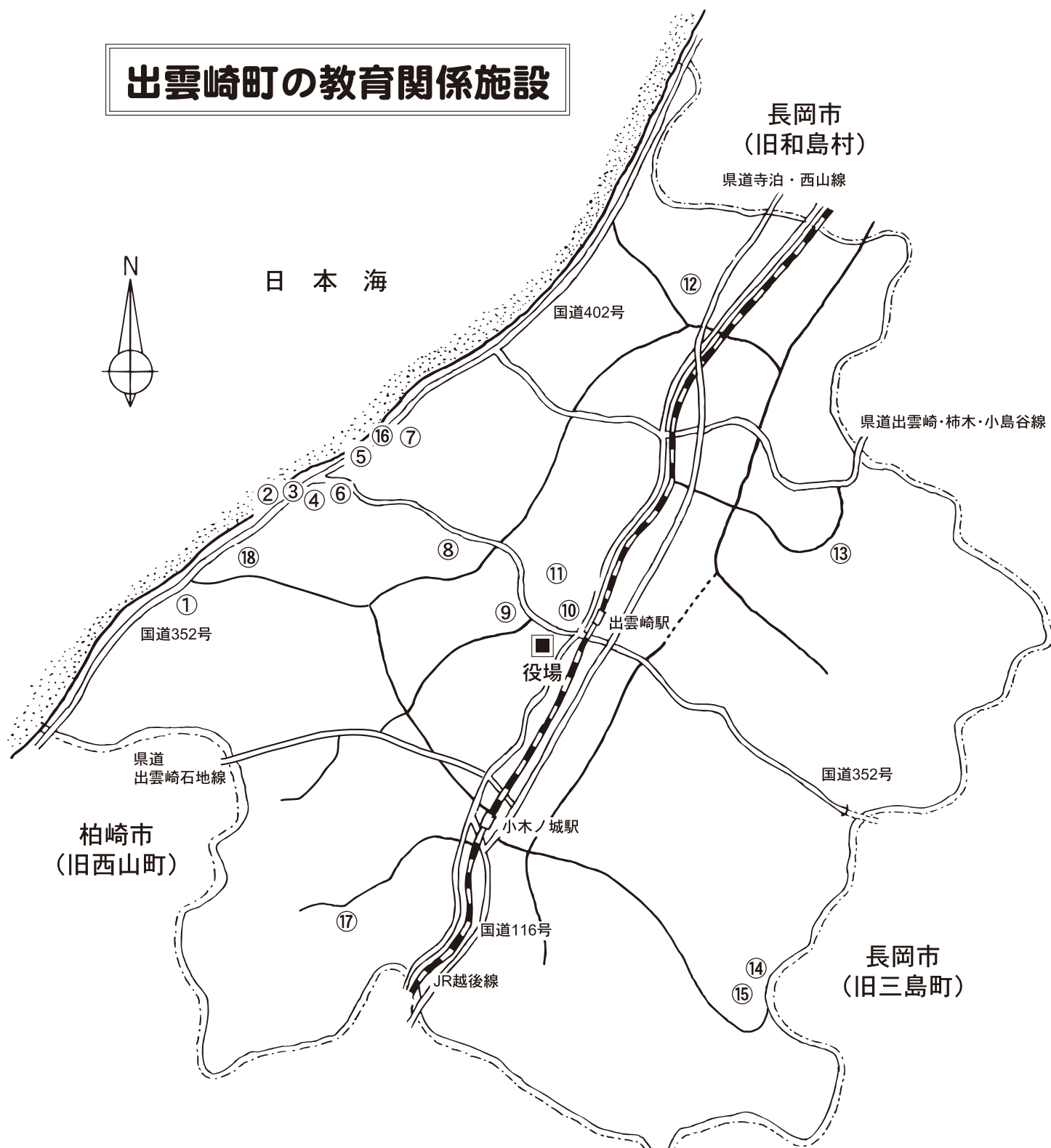
社会教育・文化・体育関係団体

団 体 名	代 表 者 名
町教育研究会	中 林 左知男
町PTA連絡協議会 (加盟団体)	南 波 久 敏 出雲崎小PTA (南波久敏) 出雲崎中PTA (佐藤昭人)
出雲崎妻入りの街並景観推進協議会	村 越 隆 夫
町婦人会	曾 根 良 子
越後出雲崎街並活性化研究会	磯 野 猛
青少年育成出雲崎町民会議	村 越 隆 夫
町公民館文化サークル協議会 (加盟団体)	小 林 豊 喜 陶芸 (小林豊喜) 太極拳 (内藤典子) 大正琴 (三輪チイ子) 書道 (丸山恵美子) ガーデニング (佐藤 敏) 英会話 (近藤佐敏) ちぎり絵 (小柳ミツエ)
滝谷薬師保存会	諸 橋 且 委
小木ノ城史跡保存会	安 達 昇 治
代官所獄門跡保存会	加 藤 修 三
孝婦ゆりの碑保存会	佐 藤 昭四郎
町体育協会 (加盟団体)	丸 山 国 夫 野球協会 (山崎信義) バドミントン協会 (安達 弘) ゲートボール協会 (内藤 壯) 出雲崎スカイヤーズ (安達 昇) てんてん手毬 (内藤隆行) 卓球クラブ (佐藤 亨) 出雲崎ランニングクラブ (赤澤和晃)
柔道教室父兄会	立 石 邦 仁
剣道教室父兄会	佐 藤 晴 絵

団 体 名	代 表 者 名
出雲崎おけさ保存会	田 中 政 孝
秀 和 会(民謡)	小 林 等
小木ノ城地区振興会	佐 藤 昭 人
渚 会 (俳句)	磯 部 友記雄
西の越句会	仲 野 隆 之
良寛景慕会	廣 橋 正 房
史 談 会	磯 部 友記雄
ライオンズクラブ	長谷川 隆
囲碁愛好会	日 浦 寛 治
いきいき元気クラブ	萩 野 美喜子

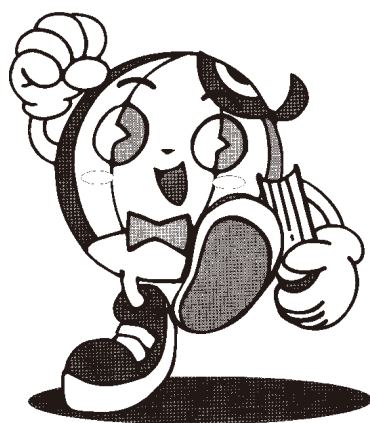


出雲崎町の教育関係施設



凡例

- | | | |
|--------------------------------|----------------------|---------------------------|
| ① 代官所跡 | ⑧ 文化・スポーツ
ふれあいの広場 | ⑩ 出雲崎小学校 |
| ② 天領の里
(石油記念館公園) | ・中央公民館 | ⑪ 県立出雲崎高校 |
| ③ 北国街道妻入り会館 | ・町民体育館 | ⑫ 赤坂山古戦場 |
| ④ 芭蕉園 | ・町民野球場 | ⑬ 木造薬師如来坐像・鰐口
(県指定文化財) |
| ⑤ 良寛堂
良寛生誕の地橘屋跡
(県指定文化財) | ・多目的運動場 | ⑭ 小木ノ城跡 |
| ⑥ 良寛記念館
(国登録有形文化財) | ・町民プール | ⑮ 小木ノ城山の樹叢
(県指定文化財) |
| ⑦ 海岸公民館
(町立図書館) | ・屋内ゲートボール場 | ⑯ 割烹 みよや
(国登録有形文化財) |
| | ・柔道場 | ⑰ 季節宿 國安
(国登録有形文化財) |
| | ⑨ 出雲崎中学校 | ⑱ 孝婦ゆりの碑 |



生涯学習マスコットキャラクター
マナボー いずもくん